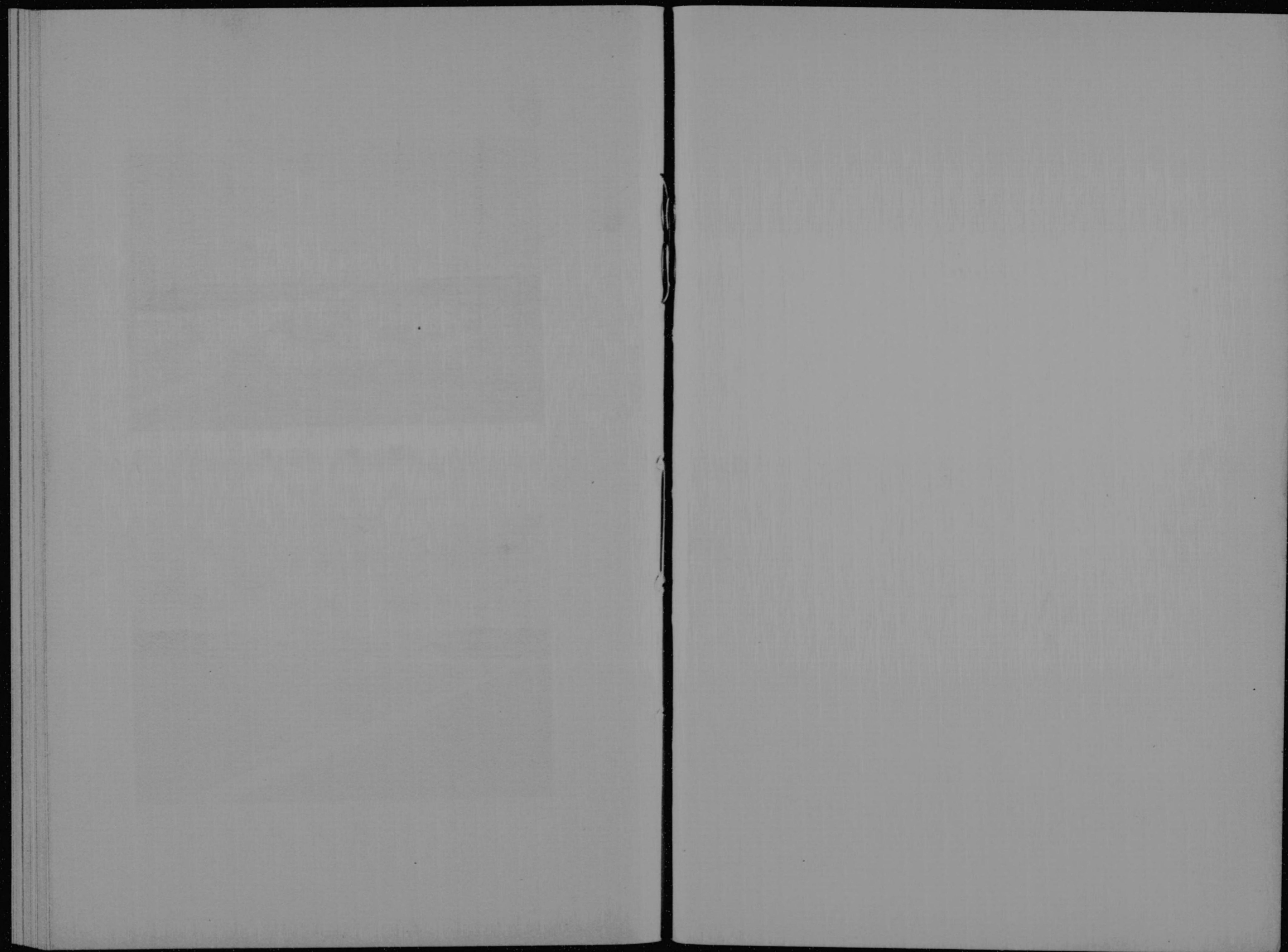


三重高等農林學校一覽

昭和三年度





校 舍 全 景



實 驗 農 場

291-72

三重高等農林學校一覽

昭和三年度

校  
長  
官  
印

目次

第一	沿革	一四
第二	學年	一六
第三	法令	一六
一、	文部省直轄諸學校官制(抄)	一八
二、	文部省直轄諸學校職員定員令(抄)	一八
三、	實業學校令(抄)	一八
四、	專門學校令(抄)	一八
五、	三重高等農林學校規程	一九
六、	實業學校卒業者入學ニ關スル件	二〇
七、	公立私立實業學校教員タルコトヲ得ル者ノ指定	二〇



目次

八、三重高等農林學校卒業者無試驗檢定ニ關スル件	二〇
九、實業學校教員養成規程	二一
十、文部省直轄實業專門學校委託生規程	二三
十一、文部省直轄諸學校外國人特別入學規程(抄)	二四
十二、臺灣朝鮮人文部省直轄諸學校入學ニ關スル件	二四
第四 規 則	二五
一、三重高等農林學校規則	二五
第五 細 則	五二
一、事務規程	五二
二、物品會計細則	六〇
三、圖書館規程	七三
四、總代規程	七九
五、學生制服規程	八一

目次

六、寄宿舍規程	八五
七、寄宿舍料規程	九〇
八、授業料徴收規程	九一
九、通學生規程	九二
十、非常警備及手配規程	九四
十一、外國人特別入學細則	一〇一
第六 職 員	一〇五
第七 學 生	一一三
一、學生氏名	一一三
二、學生數	一一三
三、地方別學生數	一一三
第八 卒業者	一一七
第九 敷地建物	一〇一

附錄

校友會規則

校友會基本金規則

一四九  
一五五

第一 沿革



大正八年政府ハ高等教育機關創設及擴張ノ計劃ヲ樹テ第四十一帝國  
議會ノ協賛ヲ經其一トシテ高等農林學校ヲ三重縣下ニ設置スルニ  
決シ八年九月位置ヲ津市上濱町ニ定ム次ヲ敷地ノ買收並地上工事ニ  
着手シ十年三月其ノ工ヲ終ユ之ヨリ先三重縣ハ本校設置ノ議アルヲ  
聞クヤ大正八年七月臨時縣會ヲ開キ創立費ニ對シ四十四萬五千圓ヲ  
政府ニ寄附スルコトヲ議決シ九年三月其ノ手續ヲ了ス大正十年八月  
本館其ノ他附屬校舍ノ新築工事ニ着手ス爾來沿革ノ大要ヲ舉クレハ  
左ノ如シ

大正十年

十二月十日 勅令第四百五十六號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制中改  
正ヲ加ヘ本校ノ設置ヲ公布セラル

沿革

同月同日 勅令第四百五十七號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中改正ヲ加ヘ本校ノ職員定員ヲ校長一人教授五人助教二人書記四人ト定メラル

同月同日 文部省事務官兼東京高等師範學校教授上原種美本校校長ニ任セラル

同月二十二日 文部省告示第五〇七號ヲ以テ本校ノ位置ヲ三重縣津市上濱町ニ定メ大正十一年四月ヨリ授業ヲ開始スル旨告示セラレ

同月同日 文部省告示第五百十二號ヲ以テ本校ノ事務ハ當分ノ間文部省内ニ於テ之ヲ取扱フ旨告示セラレ文部省修文館ニ於テ事務ヲ開始ス

同月二十五日 雨天體操場及本館附屬建物新築竣工ス

大正十一年

一月十二日 文部省令第一號ヲ以テ本校規程ヲ公布セラレ

同月十六日 本校規則ヲ制定ス

同月十七日 文部省告示第十一號ヲ以テ實業學校卒業生(但シ尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年若ハ之ト同等以上ノ實業學校卒業生ニシテ志望學科ト同種類ノ學科ヲ修メタルモノニ限ル)ヲ本校ノ入學ニ關シ中學校卒業生ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定セラレ

三月十四日 文部省告示第六十三號ヲ以テ本校ノ事務ハ三月十六日ヨリ三重縣津市上濱町本校内ニ於テ之ヲ取扱フ旨告示セラレ雨天體操場ヲ以テ臨時事務所ニ充ツ

四月一日 大正十一年度入學志願者三百二十名中ヨリ農學科農業土木學科及林學科ニ各四十名ノ入學ヲ許可ス

同月五日 本館新築工事完成シ雨天體操場ヨリ事務所ヲ移轉ス

同月八日 寄宿舎並其ノ附屬建物新築竣工ス  
 同月二十二日 第一回入學式ヲ舉行ス  
 同月二十五日 始業式ヲ舉行ス  
 同月二十六日 授業ヲ開始ス  
 同月二十九日 勅令第二百四十二號ヲ以テ本校職員定員中教授五人ヲ九人ニ助教授二人ヲ七人ニ改正セラル  
 五月十日 本校實驗農場初耕式ヲ舉行ス  
 七月二日 鎌田文部大臣來校觀察セラル  
 十月三日 教育ニ關スル勅語謄本及戊申詔書謄本ヲ下賜セラル  
 十二月二十八日 養蠶室及農場建物新築竣工ス  
 大正十二年  
 二月二十八日 實驗室新築竣工ス  
 三月二十八日 運動場工事竣工ス

同月三十日 大正十二年度入學志願者四百六十六名中ヨリ農學科、農業土木學科及林學科ニ各四十名ノ入學ヲ許可ス  
 四月十二日 第二回入學式ヲ舉行ス  
 五月八日 勅令第二百二十九號ヲ以テ本校職員定員中教授九人ヲ十人ニ助教授七人ヲ十人ニ書記四人ヲ五人ニ改正セラル  
 五人ニ助教授七人ヲ十人ニ書記四人ヲ五人ニ改正セラル

大正十三年

三月三十日 講堂、畜舎其ノ他五棟新築竣工ス  
 四月一日 大正十三年度入學志願者二百三十八名中ヨリ農學科四十二名、農業土木學科四十二名及林學科四十名ノ入學ヲ許可ス  
 四月十五日 第三回入學式ヲ舉行ス  
 五月十六日 勅令第三百三十三號ヲ以テ本校職員定員中教授十五人ヲ十八人ニ助教授十人ヲ十二人ニ書記五人ヲ六人ニ改正セラル  
 六月二十日 圖書館、書庫、武道場、農業機械室其ノ他五棟新築竣工ス



- 八月十五日 酪農室、燻蒸室外二棟新築竣工ス
- 八月十九日 實驗農場ハ從來灌溉、排水ノ便ヲ缺キ加フルニ鹽害亦尠カラサリシヲ以テ耕地ノ根本的整理改良ヲ企テ本年三月二十三日其ノ工事ニ着手灌溉、排水電動裝置外十六點ノ施設ヲ竣成ス
- 十月二十六日 中橋前文部大臣來校視察セラル
- 十一月一日 本校開校式ヲ舉行ス岡田文部大臣、柴垣文部省建築課長、荒木京都帝國大學總長、山岡三重縣知事、三條西神宮大宮司其ノ他朝野ノ名士約五百名ノ來賓アリ
- 同月二日 第一回陸上運動會ヲ舉行ス
- 十一月十一日 乾藪室、羊舍、鶏舍、豚舍外二棟新築竣工ス
- 十一月三十日 高橋農商務大臣來校視察セラル
- 十二月四日 本校規則中入學ニ關スル項ヲ改正ス
- 十二月六日 特別研究室新築竣工ス

- 十二月二十日 官舎四棟及附屬建物新築竣工ス
- 十二月三十日 蠶種貯藏庫、作物栽培實驗室、簡易堆肥及水肥舍新築竣工ス

大正十四年

- 一月二十二日 文部省告示第十二號ヲ以テ本校卒業生ハ農學科ニ在リテハ農業、動物又ハ植物、農業土木學科ニ在リテハ數學ニ關シ中等學校教員無試驗檢定ヲ受クルコトヲ得ルモノト指定セラル
- 二月十五日 本校所屬演習林トシテ三重縣一志郡八幡村所在平倉國有林四百五十七町八反六畝八步ヲ農商務省ヨリ讓受ク
- 二月十八日 農產製造室、林產製造室、飼料室新築竣工ス
- 二月二十七日 本校内ニ三重縣立農業補習學校教員養成所ヲ設置ス
- 三月十四日 温室新築竣工ス
- 三月十七日 第一回卒業證書授與式ヲ舉行シ農學科二十八名、農業士

木學科二十八名及林學科二十三名ニ卒業證書ヲ授與シ農業土木學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス

三月二十三日 本校規則中授業料ニ關スル項ヲ改正ス

三月三十一日 本校正門前ノ土地八百十二坪ヲ購入シ見本植物園ヲ設置ス

四月一日 大正十四年度入學志願者三百六十一名中ヨリ農學科、農業土木學科及林學科ニ各四十名ノ入學ヲ許可ス

同月同日 勅令第八十一號ヲ以テ本校職員定員中助教授十二人ヲ十一人ニ改正セラル

四月十五日 第四回入學式ヲ舉行ス

五月二十七日 文部省令第二十七號ヲ以テ本校規程中各學科ノ學科目及其ノ程度ニ改正ヲ加ヘラル

同月同日 本校規則中同上

十一月一日 第二回陸上運動會ヲ舉行ス

大正十五年

三月十七日 第二回卒業證書授與式ヲ舉行シ農學科三十四名、農業土木學科二十五名、林學科三十二名ニ卒業證書ヲ授與シ、農業科選科二名、農業土木學科選科一名、林學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス

四月一日 大正十五年度入學志願者四百四十五名中ヨリ農學科四十一名、農業土木學科四十二名、林學科四十名ノ入學ヲ許可ス

四月十五日 第五回入學式ヲ舉行ス

五月十五日 農業土木學科二名、林學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス

六月二十五日 農學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス

七月三日 農業土木學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス

十月三十一日 第三回陸上運動會ヲ舉行ス

十一月十一日 同日ヨリ三日間ニ亘リ文部省社會教育課ニ於テ本校

實驗農場其ノ他ノ諸施設ヲ撮影シ活動映畫ヲ作ル  
十二月四日 聖上陛下御惱御平癒祈願式ヲ舉行シ式後上原校長並ニ  
職員學生各代表者伊勢神宮ニ參拜御平癒祈願ヲナス

昭和元年

十二月二十五日 聖上陛下崩御アラセラレタルニ付奉悼式ヲ舉行ス

昭和二年

二月三日 演習林寄宿舎新築竣工ス

二月七日 大正天皇御大喪儀ニ付遙拜式ヲ舉行ス上原校長ハ上京鹵

簿内奉送ヲ爲シ職員並學生各總代ハ鹵簿ヲ奉送ス

二月十四日 今上天皇陛下朝見ノ儀式ニ於テ賜ハリタル勅語奉讀式

ヲ舉行ス

三月十七日 第三回卒業證書授與式ヲ舉行シ農學科二十七名、農業土

木學科三十一名、林學科二十二名ニ卒業證書ヲ授與シ、農學科選科一

名ニ修了證書ヲ授與ス

三月三十一日 固定温床新築竣工ス

同月同日 外國人特別入學細則ヲ制定ス

四月一日 昭和二年度入學志願者五百十二名中ヨリ農學科四十六名

農業土木學科四十二名、林學科四十五名ノ入學ヲ許可ス

四月十三日 農學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス

四月十五日 第六回入學式ヲ舉行ス

四月二十八日 農業土木學科四名、林學科三名ニ卒業證書ヲ授與ス

五月十二日 三土文部大臣來校視察セラル

五月十六日 農學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス

五月三十一日 農學科一名、農業土木學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス

九月十二日 水野文部大臣來校視察セラル

十月三十一日 第四回陸上運動會ヲ舉行ス

十一月十四日 上原校長歐米各國へ出張ヲ命セラル  
十二月二十七日 勅令第三百六十六號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員  
定員令中改正本校職員定員中ニ助手二人ヲ加ヘラル

昭和三年

一月十六日 校長上原種美歐米各國へ出張不在中教授増淵次助校長  
代理ヲ命セラル  
一月十八日 上原校長任地ヲ出發ス  
三月十七日 第四回卒業證書授與式ヲ舉行シ農學科二十六名、農業土  
木學科三十名、林學科二十九名ニ卒業證書ヲ授與ス  
三月二十日 藥品庫増築竣工ス  
三月二十八日 有毒瓦斯處理室新築竣工ス  
四月一日 昭和三年度入學志願者六百四十四名中ヨリ農學科四十一  
名、農業土木學科四十一名、林學科四十名ノ入學ヲ許可ス

四月九日 本校規則第一條ヲ改正ス

四月十五日 第七回入學式ヲ舉行ス

五月十一日 農學科一名、農業土木學科二名、林學科二名ニ卒業證書ヲ

授與ス

十月二十一日 第五回陸上運動會ヲ舉行ス

十月二十九日 勅令第二百五十六號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制中

改正「生徒監」ヲ「生徒主事」ニ改メ「生徒主事補」ヲ加ヘラル

十一月十日 御即位禮奉祝式ヲ舉行ス

同月同日 御大禮記念御眞影奉安殿地鎮祭ヲ舉行ス

十一月十五日 神宮御親謁ノ爲 天皇 皇后兩陛下 行幸啓ニ付本校

生産ノ果實ヲ獻上ス

十一月十九日 天皇 皇后兩陛下 津驛御通過ニ付職員學生一同奉迎

ス

十一月二十日 天皇 皇后兩陛下神宮御親謁ノ際職員學生一同御鹵  
簿ヲ奉拜ス

十一月二十二日 天皇 皇后兩陛下津驛御通過ニ付職員學生一同奉  
送ス

十二月十二日 上原校長歐米ノ視察ヲ了ヘ歸朝ス

十二月十三日 上原校長歸朝ニ付増淵教授校長代理ヲ免セラレ

### 第二 學年曆

四月一日 學年始。第一學期始

四月三日 神武天皇祭

四月五日 春季休業終

四月六日 第一學期授業始

四月二十九日 天長節

七月二十日 第一學期授業終

七月二十一日 夏季休業始

八月三十一日 第一學期終

九月一日 第二學期始

九月十日 夏季休業終

九月十一日 第二學期授業始

秋分日 秋季皇靈祭

十月十七日 神嘗祭

十一月一日 本校記念日

十一月三日 明治節

十一月二十三日 新嘗祭

十二月二十四日 第二學期授業終

十二月二十五日 大正天皇祭。冬季休業始

十二月三十一日 第二學期終  
 一月一日 四方拜。第三學期始  
 一月十日 冬季休業終  
 一月十一日 第三學期授業始  
 二月十一日 紀元節  
 春分日 春季皇靈祭  
 三月二十四日 第三學期授業終  
 三月二十五日 春季休業始  
 三月三十一日 第三學期終。學年終

### 第三 法令

#### 一、文部省直轄諸學校官制(抄)

(明治二十六年八月  
勅令第八十六號)

第一條 文部省直轄諸學校左ノ如ク

東京高等師範學校

廣島高等師範學校

東京女子高等師範學校

奈良女子高等師範學校

盛岡高等農林學校

南兒島高等農林學校

上田蠶絲專門學校

東京高等蠶絲學校

京都高等蠶絲學校

鳥取高等農業學校

三重高等農林學校

宇都宮高等農林學校

岐阜高等農林學校

宮崎高等農林學校

(以下省略)

第六條 文部省直轄諸學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長

教授

生徒主事

助教授

書記

生徒主事補

前項職員ノ外文部省直轄諸學校職員定員令ノ定ムル所ニ依リ助手ヲ置クコトヲ得

第七條 校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス

第八條 教授ハ勅任又ハ奏任トシ助教授ハ勅任トス生徒ノ教育ヲ掌ル

第九條 文部省直轄諸學校職員定員令ニ於テ生徒主事ノ專任定員ヲ配置シタル學校ノ生徒主事ハ奏任トシ其ノ他ノ學校ノ生徒主事ハ當該學校ノ奏任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

生徒主事ハ校長ノ命ヲ承ケ生徒ノ訓育ヲ掌ル

第十條 書記ハ勅任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ従事ス

第十條ノ二 文部省直轄諸學校職員定員令ニ於テ生徒主事補ノ專任定員ヲ配置シタル學校ノ生徒主事補ハ勅任トシ其ノ他ノ學校ノ生徒主事補ハ當該學校ノ勅任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ命ス

生徒主事補ハ上官ノ命ヲ承ケ生徒主事ノ職務ヲ助ク

第十條ノ三 助手ハ勅任トス教授又ハ助教授ノ指揮ヲ承ケ授業及實驗ノ補助ニ従事ス

第十七條 專任教官中其ノ學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得サル場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ若ハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其ノ學科ノ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得

第十九條 文部大臣ハ校務上ノ須要ニ依リ學校ニ商議委員會ヲ設ケルコトアルヘシ其委員ハ文部大臣之ヲ命ス

二、文部省直轄諸學校職員定員令(抄) (大正九年十一月 勅令第五百五十二號)

文部省直轄諸學校專任職員ノ定員左ノ如シ

三重高等農林學校

校長一人 教授十八人 助教授十一人 助手二人 書記六人

三、實業學校令(抄) (大正九年十二月 勅令第五百六十四號改正)

第一條 實業學校ハ實業ニ從事スル者ニ須要ナル智識技能ヲ授クルヲ以テ目的トシ兼テ徳性ノ涵養ニ力ムヘキモノトス

第二條 實業學校ノ種類ハ工業學校、農業學校、商業學校、商船學校、水産學校其ノ他實業教育ヲ爲ス學校及實業補習學校トス

獸醫學校ハ農業學校ト見做ス

第二條ノ二 實業學校ニシテ高等ノ教育ヲ爲スモノヲ實業專門學校トス 實業專門學校ニ關シテハ專門學校令ノ定ムル所ニ依ル

四、專門學校令(抄) (明治三十六年三月 勅令第六十一號)

第一條 高等ノ學術技能ヲ教授スル學校ハ專門學校ト稱ス

專門學校ニ於テハ人格ノ陶冶及團體觀念ノ養成ニ留意スヘキモノトス

專門學校ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外本令ノ規定ニ依ルヘシ

第五條 專門學校ノ入學資格ハ中學校若ハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スルモノト檢定セラレタル者以上ノ程度ニ於テ之ヲ定ムヘシ但シ美術音楽ニ關スル學術技能ヲ教授スル專門學校ニ就テハ文部大臣ハ別ニ其ノ入學資格ヲ定ムルコトヲ得

前項檢定ニ關スル規定ハ文部大臣之ヲ定ム

第六條 專門學校ノ修業年限ハ三箇年以上トス

第七條 專門學校ニ於テハ理科、研究科及ヒ別科ヲ置クコトヲ得

第八條 官立專門學校ノ修業年限、學科、學科目及其ノ程度並豫科、研究科及ヒ別科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十二條 第一條ニ該當セサル學校ハ專門學校ト稱スルコトヲ得ス

五、三重高等農林學校規程 (大正十一年一月十二日 文部省令第一號)

第一條 三重高等農林學校ノ修業年限ハ三年トス

第二條 三重高等農林學校ノ學科ハ農學科、農業土木學科及林學科トス

第三條 三重高等農林學校各學科ノ學科目及其ノ程度ハ左ノ如シ但シ必要アル場合ニ於テハ每週教授時數ヲ増減シ又休期時間ニ於テ實習實驗ヲ課シ若ハ臨時講義ヲ聽カシムルコトアルヘシ

(學科目省略)

第四條 本校卒業者又ハ他ノ實業專門學校卒業者ニシテ本校所定ノ學科目ニ關シ更

ニ研究セントスル者ハ研究生トシテ二年以内在學セシムルコトヲ得

第五條 各學科ノ學科目中一科目若ハ數科目ヲ選擇學修セントスル者ハ選科生トシテ入學セシムルコトヲ得

六、實業學校卒業者入學ニ關スル件 (大正十三年三月十二日 文部省告示第百九號)

專門學校入學者檢定規程第八條第一號ニ依リ左記ノ者ヲ專門學校入學ニ關シ中學校若ハ修業年限四年ノ高等女學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定ス

一、男子實業學校卒業者

但シ尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年、高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年若ハ之ト同等以上ノ實業學校ノ卒業者ニ限ル

七、公立私立實業學校教員タルコトヲ得ル者ノ指定 (大正八年七月八日 文部省告示第百九十二號)

明治四十年文部省令第二十八號公立私立實業學校教員資格ニ關スル規程第一條第三號ニ依リ指定スルコト左ノ如シ

一、實業學校ノ教員タルコトヲ得ル者左ノ如シ

官立公立實業專門學校本科卒業者

八、三重高等農林學校卒業者無試驗檢定ニ關スル件 (大正十四年一月二十二日 文部省告示第百九十二號)

明治三十六年文部省告示第三十號教員無試驗檢定ニ關スル指定學校名及學科目中左

ノ通改正ス

鳥取高等農林學校ノ次ニ左ノ如ク加フ

三重高等農林學校

農學科	農業
動物	動物
植物	植物
數學	數學

(特別講義及實驗ニ於テ動物ニ關スル科目毎週七時間以上ヲ修メ其成績優等ナル者ニ限ル)  
 (特別講義及實驗ニ於テ植物ニ關スル科目毎週七時間以上ヲ修メ其成績優等ナル者ニ限ル)  
 (當該科目成績優等ナル者ニ限ル)

九、實業學校教員養成規程 (大正四年三月 文部省令第七號)

第一條 東京帝國大學農科大學附屬農業教員養成所、東京商科大學附屬商業教員養成所、東京高等工業學校附設工業教員養成所及大阪高等工業學校附設工業教員養成所ノ生徒ニハ授業料ヲ徵收セス

前項養成所ノ生徒ニハ一箇月貳拾五圓以内ノ學費ヲ補給スルコトアルヘシ

帝國大學、官立大學及文部省直轄諸學校ノ學生々徒ニシテ卒業ノ後實業學校ノ教職ニ從事セントスル者ニハ授業料ヲ免除スルコトヲ得

第二條 前條養成所ノ生徒及前條第三項ニ依リ授業料ヲ免除セラレタル者ハ卒業ノ日ヨリ左ノ期間文部大臣ノ指定ニ依リ實業學校ノ教職ニ從事スル義務ヲ有ス但シ必要ノ場合ニ於テハ文部大臣ハ他ノ教職ニ從事スルノ義務ヲ負ハシムルコトアルヘシ

一、養成所ノ生徒ハ其ノ在學期間ノ二分ノ一  
二、養成所ノ生徒ニシテ學費ノ補給ヲ受ケタル者ハ其ノ補給ヲ受ケタル年限ニ第一號ノ期間ヲ加ヘタル期間



- 三、授業料ヲ免除セラレタル者ハ其ノ免除セラレタル期間ノ二分ノ一
- 第三條 前條ノ義務期間内ニ於テ學校ニ入學シ若ハ外國ニ留學セントスル者アルトキハ文部大臣ハ時宜ニ依リ之ヲ許可スルコトアルヘシ
- 前項ニ依リ許可ヲ受ケタル者ノ當該學校ニ在學中若ハ外國留學中ノ期間ハ前條ノ義務期間ニ算入セス
- 第四條 第二條ノ義務期間内ニ於テ文部大臣ノ指定ヲ受ケサルカ爲メ任意就職シタル者ハ其ノ旨直ニ文部大臣ニ届出ツヘシ
- 其ノ就職ヲ罷メ又ハ之ヲ變更シタルトキ亦同シ
- 前條ノ許可ヲ受ケタル者學校ヲ卒業又ハ退學シ若ハ歸朝シタルトキハ直ニ文部大臣ニ届出ツヘシ
- 第五條 第一條養成所ノ生徒及同條第三項ニ依リ授業料ヲ免除セラレタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ授業費學費又ハ授業料ヲ償還セシム但シ文部大臣ハ事情ヲ酌量シテ其全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ
- 一、退學ヲ命セラレ又ハ自己ノ便宜ニ依リ退學シタルトキ
- 二、實業學校教員タルノ志望ヲ變更シタルトキ
- 三、第二條ノ義務ヲ盡サス又ハ第三條第一項ノ許可ヲ受ケスシテ入學若ハ留學シタルトキ
- 前項授業費ノ額ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ各教員養成所ニ於テ之ヲ定ム
- 第六條 地方長官ニ於テ文部大臣ノ指定ニ依リ就職ニ從事スル者ニ其ノ義務期間内、轉任、退職若ハ休職ヲ命セントスルトキハ事由ヲ具シ豫メ文部大臣ノ指揮ヲ受クヘシ但シ陸海軍現役ニ服シ又ハ戰時事變ニ際シ召集セラレタルカ爲當然休職トナリタル者アリタルトキハ其ノ旨直ニ文部大臣ニ報告スヘシ
- 休職期間滿了ノ爲退職者トナリタル者アルトキ若ハ休職期間中復職ヲ命シタルトキ亦同シ
- 第七條 各養成所ニ募集スヘキ生徒ノ員數ハ文部大臣ノ之ヲ定ム
- 第八條 大學及專門學校ノ學生々徒ニシテ卒業ノ後實業學校ノ教職ニ從事セントスル者ニハ一箇月貳拾五圓以

- 内ノ學費ヲ補給スルコトアルヘシ
- 前項ノ規定ニ依リ學費ヲ補給ヲ受ケル者將來教員タルニ適セサルモノト認メタルトキハ文部大臣ハ學費ヲ補給ヲ止ムルコトヲ得
- 前項ノ場合ニ於テハ既ニ支給シタル學費ヲ償還セシム但シ文部大臣ハ事情ヲ酌量シテ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ
- 第九條 前條ノ規定ニ依リ學費ヲ補給ヲ受ケタル者ハ其ノ補給ヲ受ケタル年限ノ一倍半ニ相當スル期間内文部大臣ノ指定ニ依リ實業學校ノ教職ニ從事スル義務ヲ有ス但シ必要ノ場合ニ於テハ文部大臣ハ他ノ教職ニ從事スルノ義務ヲ負ハシムルコトアルヘシ
- 第三條乃至第六條ノ規定ハ前條ノ規定ニ依リ學費ヲ補給スヘキ學生々徒ニ關シ之ヲ準用ス

十、文部省直轄實業專門學校委託生規程 (明治四十年七月 文部省令第二十三號)

- 第一條 北海道府縣郡市町村其ノ他ノ公共團體及私人ハ文部省直轄實業專門學校生徒ニシテ卒業後其ノ公共團體又ハ私人ノ設置セル實業學校ノ教職ニ從事スヘキ者ニ學費ヲ補給シ委託生トシテ在學セシムルコトヲ得
- 第二條 公共團體又ハ私人ハ委託生ノ選定ヲ當該學校長ニ委嘱スルコトヲ得
- 第三條 公共團體又ハ私人ヨリ委託生ニ補給スヘキ學費ハ一箇月拾圓以上トス
- 第四條 委託生ニハ授業料ヲ徴收セス
- 第五條 委託生ハ卒業ノ日ヨリ學費ヲ補給ヲ受ケタル期間ニ一箇年ヲ加ヘタル期間當該公共團體又ハ私人ノ設置セル實業學校ノ教職ニ從事スヘキ義務ヲ有ス
- 第六條 委託生ニシテ在學中途退學シ又ハ委託生タルコトヲ止ムルトキ若ハ卒業後左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ補給ヲ受ケタル學費ヲ當該公共團體又ハ私人ニ償還スヘシ但シ當該公共團體又ハ私人ニ於テ酌量

スヘキ情狀アリト認メタルトキハ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトヲ得

一、前條ノ義務ヲ盡ササルトキ

二、懲戒免職ニ處セラレタルトキ

三、免許狀喪失ノ處分ヲ受ケタルトキ

第七條 學校長ハ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ認クルコトヲ得

十一、文部省直轄學校外國人特別入學規程(抄)

(明治三十四年十一月十一日 文部省令第十五號)

第一條 外國人ニシテ文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス所定ノ學科ノ一科若クハ數科ノ教授ヲ受ケントスル者ハ外務省、在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館ノ紹介アルモノニ限り特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第二條 前條ニ依リ教授ヲ受ケントスル外國人ハ前條ノ紹介書ヲ添ヘ帝國大學總長若クハ學校長ニ願出ツヘシ

第三條 帝國大學總長若クハ學校長ニ於テ前條ノ出願ヲ受ケタルトキハ相當ノ學力アリト認メタル者ニ限り之ヲ許可スヘシ但シ學校ノ設備上差支アル場合ハ此ノ限りニアラス

第四條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニシテ學科修了ノ證明書ヲ受ケントスル者ニハ試験ノ上之ヲ附與スヘシ

第五條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニハ入學試驗料入學料及授業料ヲ徴收セザルコトヲ得

第六條 帝國大學總長及學校長ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

十二、臺灣、朝鮮人文部省直轄諸學校入學ニ關スル件

(明治四十四年四月 文部省令第十六號)

文部省直轄學校外國人特別入學規程ハ臺灣人若クハ朝鮮人ニ之ヲ準用ス但シ其ノ入學ニ關シテハ臺灣總督府又ハ朝鮮總督府ノ紹介ヲ要ス

第四 規 則

一、三重高等農林學校規則 (大正十一年一月十六日制定)

第一章 總 則

第一條 本校ハ實業學校令及專門學校令ニ依リ農林及農業土木ニ關スル高等ノ學術技藝ヲ教授シ併セテ人格ノ陶冶及國體觀念ノ養成ヲ目的トス

第二條 本校ニ農學科、農業土木學科及林學科ヲ置ク

第三條 各學科ノ修業年限ハ三年トス

第四條 本校ニ研究生及選科生ヲ置クコトアルヘシ  
研究生及選科生ニ關シテハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外本科生ニ關スル規定ヲ準用ス

第二章 學科目及其ノ程度

第五條 各學科ノ學科目及其ノ程度ハ左ノ如シ但シ必要アル場合ニ於テハ各學科目ノ每週教授時數ヲ増減スルコトアルヘシ



學科目	第一學年			第二學年			第三學年			合計
	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	
修身	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三
體操	二	二	二	二	二	二	二	二	二	六
英語	四	四	四	三	三	三	三	三	三	十二
數學	六	六	六	三	三	三	三	三	三	二十四
物理學及氣象學	四	四	四							十二
植物學及植物生理學	三	三	三							九
礦物學及地質學	三	三	三							九
化學	二	二	二							六
幾何	二	二	二							六
應用力學		二	二							四
應用水理學			二							二

農業土木學科

學科目	第一學年			第二學年			第三學年			合計
	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	
應用菌學										三
林學大意										三
獸醫學大意										三
行政法大意										三
財政學										三
植民政策										三
教育學										三
獨逸語										三
特別講義及實驗										三
合計	二	三	三	二	三	三	二	三	三	二十
農學實驗及實習(回数)	不定時			不定時						二
農場實習(回数)	四			四			三			十一

測量學	材料及施工法	道路及橋梁	農業水利學	耕地整理論	農業機械學	原動機及揚水機	作物學	園藝學	土壤學及肥料學	農業經營學	農政學	農業土木法規
四												
四												
四							二	二				
二	二		二		二	二	二		二			
	二		二		二	二	二		二			
	三		二		二	二	一					
			二		二				二	二		
			二		二				二	二		
			二									三

經濟學	法學通論	設計及製圖	林學大意	行政法大意	植民政策	獨逸語	合計	實驗及實習(回數)	計畫演習
							三一	二	
							三二	三	
							三三	三	
		六					三四	三	
		八					三四	四	
		一二					三五	四	
二	二	二	二	二	二	三	三三	二	不定時
二	二	二	二	二	二	三	三三	二	同上
二	二	一五	三			三	三一	二	同上

學科 目	第一學年			第二學年			第三學年		
	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
修身	一	一	一	一	一	一	一	一	一
體操	二	二	二	二	二	二	二	二	二
獨逸語	五	五	五	四	四	四	三	三	三
英語	二	二	二	二	二	二	一	一	一
數學	四	四	四	三	三	三	一	一	一
物理學及氣象學	二	二	二	(三)三	(三)三	(三)三			
化學及分析	三	三	三		(三)一				
地質學及土壤學	二	二	二						
森林動物學及昆蟲學	二	二	二	(二)二	二	二			

林學科

學科 目	第一學年			第二學年			第三學年		
	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
森林植物學及樹病學			三			三			二
森林測量學			三			(三)三			二
測樹學									
林價算法及森林較利學									
造林學				一					
森林保護學									
森林利用學									
森林經理學									
森林工學									
森林理水及砂防工學									
林產製造學							二	二	三
森林管理法							二	二	三
森林法規							三	二	三
林政學							三	二	三

經濟學及財政學	法學通論及行政法大意	狩獵術	農學大意	植民政策	教育學	特別講義及實驗	合計	林學實驗及實習(回數)	森林演習	森林事務見習
							二九	二		
							三〇 (三)	二		
							二九 (二)	二		
							二九 (三)	四	不定時	
							二九 (三)	四	同上	
							三〇	四	同上	
							二五 (六)	三	同上	不定時
							二四 (八)	三	同上	同上
							二 (二)			同上
							二 (二)			同上
							二 (二)			同上

備考 各學科每週教授時數中括弧( )ヲ附スルモノハ實驗ノ時數トシ括弧( )ヲ附スルモノハ農學科ニ在リテハ選擇科目ノ時數農學土木學科及林學科ニ在リテハ隨意科目ノ時數トス、但シ選擇科目ハ二科目以上ヲ選擇セシムルモノトス

本表ノ外體操ニ關シテハ各學科各學年共四日以上ノ野外演習ヲ課スルモノトス

第三章 學年、學期及休業日

第六條 學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第七條 學年ヲ分チテ左ノ三學期トス

第一學期 自四月一日 至八月三十一日

第二學期 自九月一日 至十二月三十一日

第三學期 自一月一日 至三月三十一日

第八條 休業日ハ左ノ如シ但シ休業日ト雖實習實驗ヲ課シ又ハ臨時講義ヲ聽カシムルコトアルヘシ

一、日 曜日

一、祝日、大祭日

一、本校記念日 (十一月一日)

一、春季休業 (自三月二十五日 至四月五日)

一、夏季休業 (自七月二十一日 至九月十日)

一、冬季休業（自十二月二十五日至一月十日）

第四章 入學、在學、休學及退學

第九條 入學ノ期ハ每學年ノ始メトス但シ臨時入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第十條 入學ヲ許可スヘキ者ハ品行方正志望鞏固ナル男子ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當シ且入學檢定ニ合格シタル者タルヘシ

一、中學校卒業者

二、實業學校卒業者 但シ尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年若ハ之ト同等以上ノ學校ヲ卒業シタル者

三、前項ニ該當スル者ノ外專門學校入學者檢定規程第十一條ニ依リ一般專門學校ノ入學ニ關シ無試験檢定ノ指定ヲ受ケタル者

四、專門學校入學者檢定規程ニ依ル試験檢定合格者

前項第一號乃至第三號ニ該當スル學校ノ在學者ニシテ當該學校長ヨリ其ノ年三月末日マテニ卒業スヘキ見込アリト認定セラレタル

モノハ其ノ證明ヲ以テ入學ヲ願出ツルコトヲ得

第十一條 入學檢定ハ學力檢定、身體檢査及口頭試問ニ依リ行フ

第十二條 學力檢定ヲ分チテ試験檢定及無試験檢定トス

第十三條 試験檢定ハ國語、英語、數學、物理、化學、動物及植物ノ中、三學科目以上ニ就キ中學校卒業程度ニ依リ之ヲ行フ

第十四條 無試験檢定ヲ受クルコトヲ得ル者ハ中學校又ハ實業學校卒業者ニシテ在學中第三學年第四學年及第五學年（實業學校ニ在リテハ之ニ相當スル各學年）ノ學業成績ノ席次首位ヨリ數ヘテ全數ノ十分ノ一以內ニ在ル者トス但シ卒業ノ翌年度ヲ經過セサル者ニ限ル

前項ノ場合中學校又ハ實業學校在學者ニ付テハ最終學年ノ第一學期及第二學期ノ平均學業成績ノ席次ヲ以テ最終學年ノ席次ト看做ス



第十五條 無試験檢定ニ依リ入學ヲ許可スヘキ人員ハ各學科募集人員ノ三分ノ一以內トス

無試験檢定ニ故リ選拔セラレザリシ者ハ試験檢定ニ應スルコトヲ得但シ此場合ニ於テハ第十六條ノ書類並入學檢定料ヲ要セス

第十六條 入學志願者ハ第二條ニ掲クル學科ニ就キ其ノ志望學科ヲ定メ左ノ書類ニ入學檢定料ヲ添へ學校長ニ差出スヘシ

一、入學願書(第一號書式)

二、履歷書

三、當該學校長ノ卒業證明書又ハ卒業見込證明書(卒業シタル場合ニハ遲滞ナク更ニ卒業證明書ヲ差出スヲ要ス)若ハ專門學校入學者試験檢定合格證明書

四、寫真(入學願出前六箇月以內ニ撮影シタル脱帽半身手札形)

五、無試験檢定ヲ受クル者ニ在リテハ身體檢查書(在學中最後ノ身

體檢查書寫)

前項ノ外入學志願者ハ別ニ學業成績書(第二號書式)ヲ當該學校長ヲ經テ差出スヘシ

第十七條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ二十日以内ニ保證人ノ連署ヲ以テ誓書(第三號書式)及戶籍抄本ヲ差出スヘシ

第十八條 保證人ハ本人ノ父兄又ハ丁年以上ノ親近者ニシテ本校ニ於テ適當ト認メタルモノタルヘシ

前項ノ父兄又ハ親近者ナキトキハ學生ノ身上ニ關シテ一切ノ事件ニ付其ノ責ニ任スルニ足ルヘキ者ヲ以テ保證人トナスコトヲ得

第十九條 保證人死去若ハ前條ノ資格ヲ失ヒタルトキハ更ニ保證人ヲ定メ速ニ誓書ヲ差出スヘシ

第二十條 保證人改姓改印轉居等ヲ爲シタルトキハ其ノ旨速ニ届出ツヘシ

第二十一條 學生ハ本校所定ノ制服制帽ヲ着用スヘシ

第二十二條 學生疾病又ハ事故ニ依リ缺席スル者ハ其ノ事由ヲ具シ三日以内ニ届出ツヘシ但シ疾病ノ爲缺席七日以上ニ亘ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付スルヲ要ス

第二十三條 學生疾病又ハ事故ニ依リ引續キ三箇月以上修業スルコト能ハサルトキハ保證人ノ連署ヲ以テ願書ヲ學校長ニ差出シ許可ヲ得テ一箇年以内休學スルコトヲ得但シ疾病ノ場合ハ醫師ノ診斷書ヲ添付スルヲ要ス

休學ヲ許可セラレタル者ハ休學期間滿了ノトキヨリ原級ノ課程ヲ修ムヘシ但シ休學期間中ト雖其ノ事故消滅シタルトキハ願ニ依リ詮議ノ上休學ヲ解除スルコトアルヘシ

第二十四條 學生改姓改名改印轉籍等ヲ爲シタルトキハ其ノ旨速ニ届出ツヘシ

但シ改姓改名轉籍ノ届出ニハ戶籍抄本ヲ添付スルヲ要ス

第二十五條 學生ハ學校長ノ許可ヲ受クルニアラサレハ他ノ學校ニ入學シ又ハ他ノ學校若ハ官署ニ於ケル各種ノ試験ニ應スルコトヲ得ス

前項ノ許可ヲ受クルニハ其ノ事由ヲ具シ保證人ノ連署ヲ以テ學校長ニ願出ツヘシ

第二十六條 學生疾病又ハ事故ニ依リ退學セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ保證人連署ヲ以テ學校長ニ願出テ許可ヲ受クヘシ但シ疾病ノ場合ハ醫師ノ診斷書ヲ添付スルヲ要ス

第二十七條 本校ヲ退學シタル者再入學ヲ願出テタルトキハ缺員アル場合ニ限り詮議ノ上試験ヲ行ヒ原級以下ニ入學ヲ許可スルコトアルヘシ但シ場合ニ依リ試験ヲ省略ス試験ノ全部ヲ省略シタルトキハ入學檢定料ヲ徴收セス

第二十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ學籍ヲ除ク

- 一、性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者
- 二、學業劣等若ハ身體虛弱ニ依リ成業ノ見込ナシト認メタル者
- 三、正當ノ事由ナクシテ引續キ一箇月以上缺席シタル者
- 四、授業料ノ納付ヲ怠リ出席停止一箇月以上ニ亘ル者

第五章 表彰及懲戒

第二十九條 學生品行方正ニシテ學業ニ精勵シ其ノ成績優等ナル者其ノ他其ノ行爲他ノ模範トナスニ足ルト認メタル者ハ之ヲ選抜シテ特待生トナシ又ハ他ノ方法ヲ以テ之ヲ表彰スルコトアルヘシ

特待生ニハ授業料ヲ徴收セス

特待生學業ヲ怠リ又ハ品位ヲ傷フ行爲アルトキハ特待生タルコトヲ罷ム

第三十條 學生校規命令又ハ訓育ノ趣旨ニ違背シ其ノ本分ヲ失フト

認メタルトキハ其ノ輕重ニ依リ戒飭停學又ハ放校ニ處ス

第六章 修業及卒業

第三十一條 各學年ノ課程修了ハ該學年ニ於ケル勤惰及學業ノ成績等ヲ考查シテ之ヲ定ム

第三十二條 前條ノ考查ニ合格セサル者ハ次學年ノ始ヨリ原級ノ課程ヲ再修セシム但シ場合ニ依リ詮議ノ上假進級ヲナサシメ再考查ヲ行フコトアルヘシ

第三十三條 己ヲ得サル事故ニ依リ試験ニ缺席シタル者追試験ヲ受ケンコトヲ願出ツルトキハ詮議ノ上之ヲ許可スルコトアルヘシ

第三十四條 第三學年ノ終ニ於テハ卒業論文ヲ提出セシメ又ハ卒業試問ヲ行フ

第三十五條 第三學年ノ課程ヲ修了シ卒業論文又ハ卒業試問ノ成績適當ナリト認メタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス

第三十六條 第三學年ノ成績考査ニ合格セサル者ニハ本人ノ希望ニ依リ詮議ノ上修業證書ヲ授與スルコトアルヘシ

第三十七條 本校卒業生ハ其ノ修得セル學科ニ從ヒ農學得業士、農業土木學得業士又ハ林學得業士ト稱スルコトヲ得

第三十八條 成績考査ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第七章 研究生

第三十九條 本校卒業者又ハ他ノ實業專門學校卒業者ニシテ本校所定ノ學科目ニ關シ更ニ研究セントスル者ハ詮議ノ上研究生トシテ二年以内在學ヲ許可スルコトアルヘシ

第四十條 研究生タラントスル者ハ其ノ研究セントスル事項及在學期間ヲ具シタル願書ヲ學校長ニ差出スヘシ

第四十一條 研究生其ノ研究事項ヲ結了シタルトキハ研究報告書ヲ作リ指導教員ヲ經テ之ヲ學校長ニ差出スヘシ

研究ノ成績適當ナリト認メタル者ニハ研究證書ヲ授與ス

第八章 選科生

第四十二條 各學科ノ學科目中一科目若ハ數科目ヲ選擇學修セントスル者ハ詮議ノ上選科生トシテ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第四十三條 選科生ニシテ在學中ノ成績適當ナリト認メタル者ニハ修了證書ヲ授與ス

第九章 入學檢定料、授業料及實驗實習費

第四十四條 入學檢定料ハ金五圓トス、入學願書ト共ニ納付スヘシ

第四十五條 授業料ハ一學年本科生ハ金六拾五圓、選科生ハ金四拾五圓トス、研究生ニハ授業料ヲ徴收セス

第四十六條 授業料ハ一學年ヲ左ノ三期ニ分チ每期ノ始ニ於テ之ヲ徴收ス

本科生

選科生

第一期 自八月

金貳拾五圓

金貳拾圓

第二期 自九月  
至十二月

金貳拾參圓

金拾五圓

第三期 自一月  
至三月

金拾七圓

金拾圓

第四十七條 研究生及選科生ニハ實驗實習ニ要スル費用ノ全部若ハ一部ヲ徵收スルコトアルヘシ

第四十八條 入學檢定料、授業料及實驗實習費ハ一旦納付ノ後ハ何等ノ事由アリト雖之ヲ返付セス

第四十九條 本科學生中卒業後實業學校ノ教職ニ從事セントスル志望確實ナル者ニハ授業料ヲ免除スルコトアルヘシ

前項ニ依リ授業料ヲ免除セラレタル者ハ實業學校教員養成規程ニ依リ卒業後實業學校ノ教職ニ從事スル義務アルモノトス

第五十條 停學ヲ命シ若ハ休學ヲ許可シタル者ニハ次期ヨリ授業料

ヲ徵收セス

各學期始業日以後授業料徵收期日以前ニ停學、休學又ハ退學シタルトキハ其ノ期ノ授業料ハ一學年分ノ十分ノ一トシ指定ノ日ニ於テ之ヲ徵收ス

第五十一條 休學又ハ停學ヲ解除セラレタル者若ハ特待生タルコトヲ罷メラレタル者ニハ其ノ期ヨリ授業料ヲ徵收ス

第五十二條 授業料ハ定日マテニ納付スヘシ但シ定日以後ニ入學ヲ許可セラレタル者ハ入學許可ノ日ヨリ十日以内ニ之ヲ納付スヘキモノトス

第五十三條 授業料ヲ定日ニ納付セサルトキハ之ヲ催告シ尙納付ヲ怠ル場合ハ出席ヲ停止ス

第十章 寄宿舎

第五十四條 寄宿舎ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

附則

第四十五條及第四十六條ハ大正十四年度入學者ヨリ之ヲ適用シ其ノ以前ノ入學者ニ對シテハ仍ホ從前ノ規定ニ依ル

第一號書式

入學願書

志望學科 第一何學科

第二何學科

試驗檢定 (又ハ無試驗檢定)

受験希望場所 何地 (但シ試驗所ヲ二ヶ所以上トシ廣告シタル場合)

私儀今般御校前記ノ學科ニ入學志望ニ付御許可相成度入學檢定料相添へ此段御願候也

本籍

住所 (受信ノ場所)

年月日

氏

名

印 (氏名ニ片假名ヲ付スヘシ)

年月日生

三重高等農林學校長氏名殿

履 歷 書 (同一紙裏面ヨリ始ム)

學業

一、何年月日ヨリ何學校ニ入學、何年何月何學校卒業又ハ何年何月ヨリ何年何月マテ何某ニ就キ何學修業

一、何年何月何日何學校ニ於テ專門學校入學者檢定規程ニ依リ試驗檢定合格證明書ヲ受ク等

職業

一、何年何月何官職拜命又ハ何業ニ從事、何年何月退官廢業又ハ現今何官職何業從事等

兵役

一、何年何月何隊入營、何年何月滿期(歸休)除隊又ハ補充國民軍編入等

賞罰

規則

一、何年何月何所ニ於テ何々ノ賞罰ヲ受ク等

第二號書式

學業成績書

右者本校在學中三年間ノ學業成績左記之通ニ候也

氏名

名

三重高等農林學校長氏名殿

名

五〇

學科目	學年		平均點數	席次	修了年次
	第 年	第 年			
何々々	昭和 年	昭和 年		人中 番	昭和 年
何々々	昭和 年	昭和 年		人中 番	昭和 年
何々々	昭和 年	昭和 年		人中 番	昭和 年
最終學年				人中 番	昭和 年

注意 本書ハ當該學校長ヨリ直接本校校長ニ差出スモノトス

第三號書式

誓書

私儀今般御校へ入學許可相成候ニ付テハ校規命令及訓育ノ御趣旨ヲ遵守シ専心學業ヲ勉勵可致候仍テ保證人連署ヲ以テ誓書如此候也

年 月 日

本籍 住所 氏名

戶主又ハ何某何男若ハ弟等

年 月 日生

本籍 住所 氏名

職業本人トノ關係

年 月 日生

三重高等農林學校長氏名殿

規則

五一

### 第五 細則

#### 一、事務規程 (大正十一年四月二十日制定)

##### 第一章 總則

第一條 校務ヲ掌理スル爲本校ニ庶務課、會計課、教務課、學生課、圖書課、農學科、農業土木學科、林學科、農場及演習林ヲ置ク

第二條 各課農場及演習林ニ長ヲ置キ各科ニ主事ヲ置ク

第三條 課長ハ教官又ハ書記ノ中ヨリ學校長之ヲ命シ主事農場長及演習林長ハ教官ノ中ヨリ學校長之ヲ命ス

第四條 校務ハ總テ學校長ノ決裁ヲ經ルニアラサレハ施行スルコトヲ得ス但シ事ノ輕易ニシテ先例アルモノハ各主管者ニ於テ之ヲ專行スルコトヲ得

第五條 各主管者ハ學校長ノ命ヲ受ケ所管ノ事務ヲ掌理シ所屬職員

##### ヲ監督ス

第六條 所屬職員ハ主管者ノ指揮ヲ受ケ其ノ事務ニ從事ス

第七條 各主管者事故アリテ執務スルコト能ハサルトキハ所屬首席者其ノ事務ヲ代理ス但シ時宜ニ依リ特ニ代理ヲ命スルコトアルヘシ

第八條 分掌セル校務ノ相關聯スルモノハ之ヲ合議スヘシ事務ノ所屬不明ナルモノアルトキハ學校長ノ指定ヲ受ケ之ヲ處理スヘシ

##### 第二章 分掌

第九條 庶務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、御眞影及勅語謄本ニ關スル事項
- 二、學校長ノ官印及學校印ノ保管ニ關スル事項
- 三、公文書類ノ接受發送及其ノ整理保管ニ關スル事項
- 四、庶務課ニ屬スル公文書類ノ審議立案及其ノ整理保管ニ關スル



事項

- 一、 儀式ニ關スル事項
- 二、 官吏及雇員等ノ進退賞罰及身分ニ關スル事項
- 三、 敍位及敍勳ニ關スル事項
- 四、 規則ノ制定改廢及命令傳達ニ關スル事項
- 五、 學校一覽及記錄編纂ニ關スル事項
- 六、 統計報告ニ關スル事項
- 七、 法律命令ノ加除訂正ニ關スル事項
- 八、 名簿履歷書及出勤簿ニ關スル事項
- 九、 會議ニ關スル事項
- 一〇、 宿直ニ關スル事項
- 一一、 庶務課ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項
- 一二、 他ノ主管ニ屬セサル一切ノ事務

第十條 會計課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、 歳入歳出豫算及決算ニ關スル事項
- 二、 物品ノ出納及保管ニ關スル事項
- 三、 金錢ノ出納及保管ニ關スル事項
- 四、 官有財産及資金ノ監理ニ關スル事項
- 五、 建物及校地ノ使用營繕ニ關スル事項
- 六、 物品購入及不用品處分ニ關スル事項
- 七、 備人ノ進退賞罰及取締ニ關スル事項
- 八、 校舎内外ノ洒掃ニ關スル事項
- 九、 建物及校地ノ警備取締ニ關スル事項
- 一〇、 電燈、電話、瓦斯、給水及煖房ニ關スル事項
- 一一、 會計課ニ屬スル公文書類ノ審議立案及整理保管ニ關スル事項
- 一二、 會計課ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項

三、其ノ他會計課ニ關スル一切ノ事項

第十一條 教務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、教室、講堂、教具、教材ノ設備及整理保管ニ關スル事項
- 二、教授事項ノ分擔及日課ノ配當ニ關スル事項
- 三、授業及休業ニ關スル事項
- 四、學生募集並ニ入學檢定ニ關スル事項
- 五、學生ノ入學、退學、休學及學籍ニ關スル事項
- 六、成績考査進級卒業ニ關スル事項
- 七、教官會議ニ關スル事項
- 八、修學旅行ニ關スル事項
- 九、學事報告ニ關スル事項
- 一〇、教務課ニ屬スル公文書類ノ審議立案及其ノ整理ニ關スル事項
- 一一、教務課ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項

三、參觀人ニ關スル事項

三、其ノ他教務ニ關スル一切ノ事項

第十二條 學生課ニ於テ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、學生ノ訓育並ニ賞罰ニ關スル事項
- 二、學生ノ風紀取締ニ關スル事項
- 三、學生ノ衛生及身體檢査ニ關スル事項
- 四、學生ノ集會及印刷物ニ關スル事項
- 五、學生ノ願出ニ關スル事項
- 六、學生ノ兵役ニ關スル事項
- 七、學生ノ入退舍、外泊、通學、入院、歸省及旅行ニ關スル事項
- 八、寄宿舍ノ取締及管理ニ關スル事項
- 九、寄宿舍ノ炊事及出入商人ニ關スル事項
- 一〇、非常事變ニ關スル事項

- 二、學生課ニ屬スル公文書類ノ審議立案及其ノ整理ニ關スル事項
- 三、學生課ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項
- 三、其ノ他生學取締ニ關スル一切ノ事項

第十三條 圖書課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、圖書ノ出納、整理及保管ニ關スル事項
- 二、圖書ノ貸付ニ關スル事項
- 三、書庫及閱覽室ニ關スル事項
- 四、官報、新聞、雜誌、年報一覽等ノ整理保存ニ關スル事項
- 五、圖書課ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項
- 六、圖書課ニ屬スル公文書類ノ審議立案及其ノ整理ニ關スル事項
- 七、圖書ノ調査ニ關スル事項
- 八、其ノ他圖書ニ關スル一切ノ事項

第十四條 農學科、農業土木學科及林學科ニ於テハ各左ノ事項ヲ監掌ス

- 一、當該學科ニ屬スル學科目ノ教授ニ關スル事項
- 二、前號ニ伴フ建物試驗地及物品ノ整理保管ニ關スル事項
- 三、教授要旨及教授細目ノ編纂整理ニ關スル事項
- 四、教授分擔ニ關スル事項
- 五、事業功程ニ關スル事項
- 六、農學科ニ於テハ植物園ニ關スル事項
- 七、林學科ニ於テハ林學實習場ニ關スル事項
- 八、其ノ他當該學科ニ關スル事項

第十五條 農場ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、農場ノ經營管理ニ關スル事項
- 二、農事實驗實習ニ關スル事項
- 三、養蠶實習ニ關スル事項
- 四、家畜飼育管理ニ關スル事項

- 五、農産製造及畜産製造實習ニ關スル事項
  - 六、生産物處分ニ關スル事項
  - 七、所屬建物物品ノ整理保管ニ關スル事項
  - 八、其ノ他農場ニ關スル事項
- 第十六條 演習林ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一、演習林ノ經營管理ニ關スル事項
  - 二、森林演習ニ關スル事項
  - 三、生産物處分ニ關スル事項
  - 四、所屬建物物品ノ整理保管ニ關スル事項
  - 五、其ノ他演習林ニ關スル事項

二、物品會計細則 (大正十二年四月二十一日制定)

第一條 本校物品會計ハ物品會計規則及文部省直轄各部物品會計規

程ニ基キ本則ニ據リ處理スヘシ

第二條 物品ノ種別ハ左ノ項目ニ從ヒ之ヲ區分スヘシ

備品

通常備品

共用  
專用

學術用備品

器具  
機械  
標本

動物

圖書

消耗品

通常消耗品

實驗用消耗品

藥品、材料及雜品  
飼料、肥料、種苗

第三條 備品ニハ品名、番號及校名ヲ記載シタル票札ヲ附スヘシ之ヲ

各部局ニ支給スル場合ハ更ニ其ノ部局名ヲ記入スルモノトス

但シ之ヲ附スルコト能ハサル物品ニ付テハ適當ノ方法ニ依リ整理スヘシ

第四條 各部局ニ於テ物品ノ支給ヲ受ケントスルトキハ其ノ品名數量及需要ノ事由等ヲ記載セル請求書ヲ會計課ニ差出スヘシ但シ註文上仕様書及圖解等ヲ要スルモノハ之ヲ添付スヘシ

第五條 會計課ニ於テ前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ物品ノ在庫品ナルトキハ學校長ノ許可ヲ經テ直ニ支給ノ手續ヲ爲シ之ヲ當該物品監守者又ハ物品取扱主任ニ交付シ新ニ購入ヲ要スルモノハ價格ヲ記シ學校長ノ許可ヲ經テ購入及支給ノ手續ヲ爲スヘシ

第六條 通常所要ノ物品ハ會計課ニ於テ一箇年ノ所要高ヲ豫算シ學校長ノ許可ヲ經テ一回若ハ數回ニ取纏メ購入ノ手續ヲ爲シ之ヲ倉庫ニ藏置シ各部局ノ請求ニ應シ支給ノ手續ヲ爲スヘシ

第七條 各部局ニ於ケル實驗實習上生産シタル物品ハ當該物品取扱

主任ニ於テ其ノ品名數量評價及引繼年月日ヲ記載シ之ヲ物品會計官吏ニ引繼クヘシ

第八條 前條生産物又ハ保管轉換若ハ寄贈ニ係ル物品ハ物品會計官吏ニ於テ其ノ品名數量及價格若ハ評價ヲ附シ學校長ノ許可ヲ經テ藏置、賣却又ハ支給ノ手續ヲ爲スヘシ

第九條 各部局ニ備品ニ付物品監守者、消耗品ニ付物品取扱主任一名若ハ數名ヲ置ク其ノ監守區域及取扱物品ノ種目ハ別ニ之ヲ定ム物品監守者及物品取扱主任ハ各自物品ノ使用又ハ取扱ニ關シ其ノ責ニ任スヘシ

第十條 職員執務用机椅子類及被服類ハ專用備品トシ專用者各自之ヲ監守シ其ノ責ニ任スヘシ

第十一條 職員及傭人ノ新任轉免ノ際ハ會計課ハ其ノ都度專用備品ノ支給返付ノ事ニ當ルヘシ

第十二條 物品監守者又ハ物品取扱主任物品ノ支給ヲ受ケタルトキハ直ニ備品ハ監守簿ニ消耗品ハ受拂簿ニ記帳シ現物ト對照ノ上所定ノ用紙ニ領收ノ印ヲ押捺シ遲滞ナク物品會計官吏ニ返付スヘシ但シ備品ニ在リテハ監守簿ニ物品備付ノ場所ヲ摘記シ其ノ所在ヲ明ニシ消耗品ニ在リテハ其ノ受拂殘高ヲ明確ニスヘシ

第十三條 物品監守者變更シタルトキハ新舊監守者及會計課員立合ノ上現品ト關係書類トヲ照合シ引繼ヲ爲スヘシ引繼ヲ了シタルトキハ新舊監守者連署シ其ノ旨物品會計官吏ヲ經テ學校長ニ報告スヘシ

第十四條 物品監守者間ニ於テ物品監守換ノ必要ヲ生シタルトキハ其ノ旨會計課ニ通知シ制規ノ手續ヲ經テ現品ノ受授ヲ爲スヘシ  
第十五條 物品監守者監守中ノ物品ニシテ自然ニ毀損シ修理ヲ要スルモノアルトキハ所定ノ請求書ヲ添ヘ會計課ニ差出スヘシ

會計課ニ於テ前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ學校長ノ許可ヲ經テ修理ノ手續ヲ爲スヘシ

第十六條 物品監守者監守中ノ物品不用トナリ又ハ毀損シ修理ヲ加フルモ使用ノ見込ナキモノアルトキハ其ノ旨所定ノ物品返付用紙ニ記載シ現品ト共ニ會計課ニ差出シ物品會計官吏ノ受領證ヲ受ケ物品監守簿ニ其ノ事由年月日ヲ記載シ抹消シ置クヘシ

第十七條 監守物品ノ稟札ノ汚損者ハ紛失シタルモノアルトキハ物品監守者ハ直ニ會計課ニ通告シ更ニ稟札ノ貼付ヲ受クヘシ  
第十八條 監守物品ニシテ紛失シタルモノアルトキハ物品監守者ハ其ノ品名數量番號等ヲ取調ヘ其ノ實況ヲ詳記シタル始末書ヲ作り物品會計官吏ヲ經テ學校長ニ申報スヘシ

第十九條 不用ニ歸シタル物品又ハ毀損ノ物品ニシテ修理使用ノ見込ナキモノアルトキハ物品會計官吏ニ於テ處分案ヲ具シ學校長ノ

決裁ヲ受クヘシ

第二十條 使用中ノ物品ハ物品會計官吏左ノ各項ニ依リ之ヲ監督ス

ヘシ

一、備品ハ毎年一回以上物品出納簿ト各部局物品監守簿トヲ照合シ更ニ監守簿ト現品トヲ照査スルコト

二、消耗品ハ每學期一回以上物品出納簿ト消耗品受拂簿トヲ照合シ更ニ受拂簿ト現在品トヲ照査スルコト

三、前項ノ調査ニ於テ物品ノ亡失毀損ヲ發見シタルトキ又ハ物品ノ使用上ニ付意見アルトキハ學校長ニ申報シ其ノ決裁ヲ受クヘシ

第二十一條 物品會計官吏ハ物品ノ出納保管ヲ明確ナラシムル爲左

ノ帳簿ヲ備ヘ之ヲ整理スヘシ

一、備品出納及支給簿

本簿ニハ圖書以外ノ備品ヲ第二條ノ物品種別ニ從ヒ各冊ニ別チ種別順品目毎ニ細別シ口座ヲ設ケ品名數量價格番號年月日納入等ヲ登記シ供用在庫ノ現數並物品ノ出納ヲ明ニスヘシ  
貴重物品ニ付テハ其ノ製作番號又ハ現品タルヲ知ルニ足ル事項ヲ關係書ニ記入スヘシ

二、圖書出納簿

本簿ニハ圖書ノ部門別ニ從ヒ圖書名部數冊數價格番號納入等ヲ登記シ其ノ出納ヲ明ニスヘシ

三、消耗品出納簿

本簿ニハ通常消耗品ニ在リテハ帳簿用紙類、筆墨、印肉類、郵便切手類、印刷物類、新炭油類、雜品類、雜用品類、實驗用消耗品ニ在リテハ實驗材料及雜品類、藥品類、肥料類、飼料類、種苗類等ニ區別シ品名數量價格年月日、納入等ヲ登記シ其ノ出納ヲ明ニスヘシ但シ通常消耗

品ニ在リテハ品目毎ニ細別シ口座ヲ設ケ登記スヘシ  
四、生産品出納簿

本簿ニハ實驗實習ニ依ル生産品又ハ製造品ノ品名數量價格年月日等ヲ登記シ其ノ出納ヲ明ニスヘシ

五、専用備品支給簿

本簿ニハ職員又ハ傭人ニ支給スル専用備品ノ品名數量番號價格年月日等ヲ登記シ物品會計官吏ト其ノ支給ヲ受クルモノトノ受授ヲ明ニスヘシ

第二十二條 各部局物品監守者又ハ物品取扱主任ニ於テハ物品ノ出納監守ヲ明確ナラシムル爲左ノ帳簿ヲ備ヘ之ヲ整理スヘシ

一、備品監守簿

本簿ニハ圖書以外ノ監守物品ノ品名數量番號價格年月日等ヲ登記シ監守物品ノ現況ヲ知ルト共ニ現品ノ照査ニ便ナラシムヘシ

二、圖書監守簿

本簿ニハ部門毎ニ口座ヲ設ケ圖書名、部數、冊數、價格年月日等ヲ登記シ圖書ノ現況ヲ知ルト共ニ現品ノ照査ニ便ナラシムヘシ

三、消耗品受拂簿

本簿ニハ郵便切手類以外ノ消耗品出納簿ノ順序ニ基キ品目毎ニ口座ヲ設ケ數量及受拂ノ年月日ヲ登記シ拂受者ノ證印ヲ押捺セシムヘシ

四、郵便切手類受拂簿

本簿ハ庶務課ニ之ヲ備ヘ種別毎ニ口座ヲ設ケ數量及受拂ノ年月日ヲ登記シ當該物品取扱主任ハ常ニ帳簿ノ殘高ト現品トヲ照査スヘシ

第二十三條 本校ニ物品檢閱委員ヲ置キ定期臨時ノ二種ニ分チ毎年一回以上實地ニ付キ左ノ各項ヲ檢査セシム但シ定期檢閱ハ八月ト



ス臨時檢閲ハ臨時必要アリト認メタル場合ニ於テ之ヲ施行ス

- 一、物品保管ノ適否
- 二、物品使用ノ適否
- 三、消耗品消費ノ適否
- 四、物品缺損ノ有無
- 五、帳簿ト現品トノ對照

第二十四條 物品檢閲委員ハ委員長一名委員若干名トシ職員中ヨリ學校長之ヲ命ス

第二十五條 物品檢閲ハ在庫品ニ在リテハ物品會計官吏使用中ノ物品ニ在リテハ物品監守者消耗品ニ在リテハ物品取扱主任ニ付キ其ノ保管ニ屬スル物品ノ全部ヲ精細ニ検査スヘシ  
前項ノ檢閲ヲ受ケタル者ハ實地ニ就キ檢閲委員ノ質問ニ對シ答辯スヘシ

第二十六條 物品檢閲委員検査ヲ了シタルトキハ帳簿ニ其ノ年月日ヲ記シ署名スヘシ

第二十七條 物品檢閲上物品ニ缺損アリタルトキハ檢閲委員ニ於テ當該責任者ヨリ補填ノ方法及期限ヲ明記シタル始末書ヲ徴スヘシ  
第二十八條 物品檢閲委員其ノ檢閲ヲ了シタルトキハ檢閲ノ顛末ニ意見ヲ具シ關係書類ヲ添ヘ十五日以内ニ委員長ヲ經テ學校長ニ申報スヘシ

第二十九條 本則ニ據ル諸帳簿並諸表ハ別紙様式ニ依リ調製スヘシ

備品監守區域及消耗品取扱種目表

部局名	備品監守區域	消耗品取扱種目
庶務課	校長室、講堂、貴賓室、會議室、應接室、宿直室、庶務課室	郵便切手及端書
教務課	普通教室、教官室、教務課室	通常消耗品中教授用ノモノ

會計課	會計課室及他ノ部局ニ屬セザル箇所	通常消耗品
學生課	寄宿宿、學生集會所、消防器具置場、銃器室、武道場、學生控所、學生課室	
圖書課	圖書館、書庫	
植物學實驗室	植物學及植物病理學實驗室、培養基室、定溫器室、細菌室、博物學教室、硝子室	實驗用消耗品
動物學實驗室	動物學研究室、昆蟲學研究室、顯微鏡寫真室、顯微鏡實驗室、農學實驗室	同
物理學實驗室	物理學實驗室、物理器具機械室、電池室、教官室、物理教室、氣象觀測所、モーター室	同
化學實驗室	分析室、天秤室、化學器具機械室、調劑室、教官室、化學教室、藥品庫、瓦斯發生室、蒸餾室、農產製造室	同
養蠶學實驗室	養蠶室、蠶種貯藏庫、乾燥室	同
園藝學實驗室	園藝學研究室、溫室	同
實驗農場園藝實習	園藝圃場	同
畜產學實驗室	畜產學研究室、家畜家禽舍、飼料室、薰烟室、酪農室	同

特別研究室	特別研究室	同
農學科	作物研究室、作物栽培實驗室	同
農業土木學科	耕地整理研究室、機械學研究室、應用力學研究室、材料實驗室、機械學實驗室、農業土木學科器具機械室、農業土木學科製圖室	同
林學科	森林理水及砂防工学研究室、森林利用學研究室、造林學及經理學研究室、林學科實驗室、林學科標本室、林學科器具機械室、林學科製圖室、林產製造室、演習林	同
實驗農場	農場管理室及實習室、作業室、收納室、穀物庫、農業器具機械室、堆肥舍、物置藁置場、簡易堆肥及水肥舍、燻蒸室、秤場、農夫詰所、ポンプ室	同 通常消耗品中事務用ノモノ
農業機械製作室	農業機械製作室	實驗用消耗品

三、圖書館規程 (大正十三年十二月十七日制定)

總則

第一條 本校圖書館ハ本校ノ圖書ヲ保管シ本校職員及學生ノ閱覽又ハ貸付ニ供ス

第二條 圖書ヲ分チテ普通圖書及特別圖書ノ二種トス

第三條 本校卒業者官廳學校職員公私團體ノ役員又ハ個人ニシテ學校長ノ許可ヲ經タルモノハ圖書ヲ閱覽シ又ハ之ヲ借受クルコトヲ得

第四條 本館員ノ外圖書ノ出納ヲ爲スコトヲ得ス

圖書閱覽

第五條 閱覽室ハ休業日ヲ除ク外毎日之ヲ開ク

但シ開閉ノ時限ハ變更ノ都度之ヲ揭示ス

第六條 學生閱覽室ニ入ラントスルトキハ圖書閱覽票ヲ館員ニ渡シ置キ退場ノ際之ヲ受ケ取ルヘシ

第七條 圖書ヲ借覽セントスル者ハ所定ノ圖書閱覽傳票用紙ニ相當事項ヲ記入シ館員ニ差出シ圖書ヲ借受ケ閱覽了ラハ直ニ之ヲ返納スヘシ但シ閱覽冊數ハ一時ニ三冊ヲ超ユルヲ得ス



第八條 圖書ハ必ス閱覽室ニ於テ閱覽スヘシ閱覽室備付ノ圖書及雜誌類ハ定メタル席ニ於テ閱覽シ閱覽了ラハ直ニ所定ノ位置ニ納メ置クヘシ

第九條 閱覽室ニ在リテハ靜肅ヲ旨トシ音讀談話喫煙等ヲ爲スヘカラス

第十條 閱覽室ニハ圖書文房具ノ外他ノ物品ヲ携帯スルコトヲ得ス

第十一條 圖書閱覽票ハ他ニ轉貸スルコトヲ許サス

圖書貸付

第十二條 圖書ヲ借受ケントスル者ハ所定ノ圖書借受證用紙ニ相當事項ヲ記入シ捺印ノ上館員ニ差出スヘシ

第十三條 圖書借受ノ冊數ハ左ノ制限ヲ超ユルコトヲ得ス但シ學校長若ハ當該學科主任教官ノ證明ニヨリ圖書課長ノ承諾ヲ得タルモノハ此ノ限リニアラス

教官 五冊 其ノ他 二冊

第十四條 教授上又ハ事務上必要アルトキハ前條ノ外圖書ヲ借受ケ研究室又ハ事務室ニ之ヲ備付クルコトヲ得此ノ場合ニハ當該學科主任教官又ハ課長其ノ保管ノ責ニ任スルモノトス

第十五條 圖書館ニ所藏スル教科書ニツキテハ每學年ノ始メ當該教官ニ於テ豫メ冊數ヲ取り纏メ借受ノ申出アルトキハ之ヲ貸付スルコトアルヘシ但シ當該教官其ノ保管ノ責ニ任スルモノトス

第十六條 特別圖書及普通圖書ノ中辭書諸學科ニ通スル參考書及閱覽室備付ノ圖書ハ之ヲ貸出スコトヲ得ス但シ學校長ノ許可ヲ得タルモノハ此ノ限リニアラス

第十七條 新着ノ圖書雜誌等ハ受入後一週間ハ之ヲ貸付セス

第十八條 凡テ借受ケタル圖書ハ他ニ轉貸スルコトヲ許サス但シ第十四條ニ依ル圖書ハ第十二條ノ手續ヲ準用シテ他ニ貸付スルコトヲ得

ヲ得

第十九條 學生ニシテ圖書ヲ借受ケタルモノハ十日以内ニ之ヲ返納スヘシ若シ引續キ借受ノ必要アルトキハ更ニ第十二條ノ手續ニ依ルヘシ但シ第十五條ニ依リ借受ケタルモノハ此ノ限リニアラス

第十三條 ニヨリ職員ノ借受ケタルモノ及第三條ニ依リ借受ケタルモノノ借受期間ハ一ヶ月以内トス

第二十條 凡テ借受ケタル圖書ハ夏期及冬期休業前又ハ每學年ノ終ニ於テ指定ノ期日マテニ悉皆返納スヘシ但シ第十四條ニ依ルモノハ此ノ限リニアラス

第二十一條 夏期及冬期休業中圖書ヲ借受ケントスル者アルトキハ職員ハ圖書課長學生ハ圖書課長及當該學科教官ノ許可ヲ得タルモノニ限リ之ヲ貸付クルコトヲ得但シ該圖書ハ夏期ニ於テハ九月十五日マテニ冬期ニ於テハ一月十五日マテニ返納スヘシ

第二十二條 貸付シタル圖書ハ第十三條第十四條及第十五條ノ孰レニ依ルモノタルヲ問ハス臨時返納セシメ之ヲ點檢スルコトアルヘシ但シ第十四條ニ依ル圖書ニツキテハ時宜ニ依リ本館員出張ノ上點檢スルコトヲ得

第二十三條 職員退職轉任ノ場合、學生卒業退學休學等ノ場合ハ其ノ借受ケタル圖書ヲ直ニ返納スヘシ

圖書檢索

第二十四條 各部署長及教官公務上必要アルトキハ圖書館員ノ承諾ヲ得テ書庫内ニ入り圖書ノ檢索ヲナスコトヲ得

第二十五條 圖書ヲ檢索スル者ハ圖書ノ位置ヲ錯亂セサルハ勿論出納者ニ障礙ヲ及ホササル様注意スヘシ

制 裁

第二十六條 借受ケタル圖書ハ借受者其ノ保存ノ責ニ任シ若シ紛失

汚損等ノ行爲アルトキハ同一ノ圖書ヲ以テ償ハシメ又ハ之ヲ修補セシム但シ時宜ニヨリ相當ノ代價ヲ以テ辨償セシムルコトアルヘシ

第二十七條 本則ニ違背シタルモノ其ノ他本館員ニ於テ必要アリト認ムルモノアルトキハ一定ノ期間又ハ無期限ニ圖書ノ閱覽及貸付ヲ禁スルコトアルヘシ

第二十八條 圖書ヲ辨償セシメ又ハ閱覽貸付ヲ禁スヘキモノアリト認ムルトキハ圖書課長ハ豫メ意見ヲ具シ學校長ニ稟申スヘシ

四、總代 規 程 (大正十一年七月二十七日制定)

第一條 各學科各級ニ總代及副總代各一名ヲ置ク

第二條 總代ハ其ノ級ヲ代表シ學校ト學生及各級間ノ關係ノ圓滑ヲ圖リ兼テ級ノ統一秩序及風紀ノ振作ニ努ムヘシ

- 第三條 副總代ハ總代ヲ補佐シ總代事故アルトキハ之ヲ代理ス
- 第四條 各級學生ハ各學期ノ始ニ於テ其ノ級總代及副總代ノ候補者五名ヲ投票ニ依リテ選舉スヘシ
- 第五條 總代及副總代ハ前條ノ候補者中ニ就キ學校長之ヲ任命ス但シ其ノ候補者適當ナラスト認ムルトキハ更ニ選舉ヲ行ヒ別ニ候補者ヲ定メシムルコトアルヘシ
- 第六條 第一學年第一學期ニ在リテハ前二條ノ規定ニ依ラス學校長ハ適宜總代及副總代ヲ任命スルコトアルヘシ
- 第七條 總代及副總代ノ任期ハ一學期間トス
- 第八條 總代又ハ副總代ニシテ其ノ任ニ適セスト認ムルモノアルトキハ學校長ハ之ヲ免シ第四條及第五條ノ手續ニ依リ更ニ總代又ハ副總代ヲ任命スルコトアルヘシ
- 前項ニ依ル總代又ハ副總代ノ任期ハ其ノ殘期間トス

五、學生制服規程 (大正十五年一月六日制定)

第一條 學生ノ制服ハ左ノ如シ

帽子

- 地質 黑絨
- 前章 金色如圖
- 眼底 黑革
- 願紐 黑革(幅三分)
- 釦 金色圓形
- 帶布 黑色綾織(幅一寸五分)
- 制式 如圖

衣

- 地質 黑又ハ濃紺セル但シ夏ハ小倉藍鼠霜降

細則

鈕 金色如圖

襟章 左襟ニ農學科ハA、農業土木學科ハE、林學科ハFノ金字ヲ附ス

袴 制式 如圖

袴

地質 衣ニ同シ

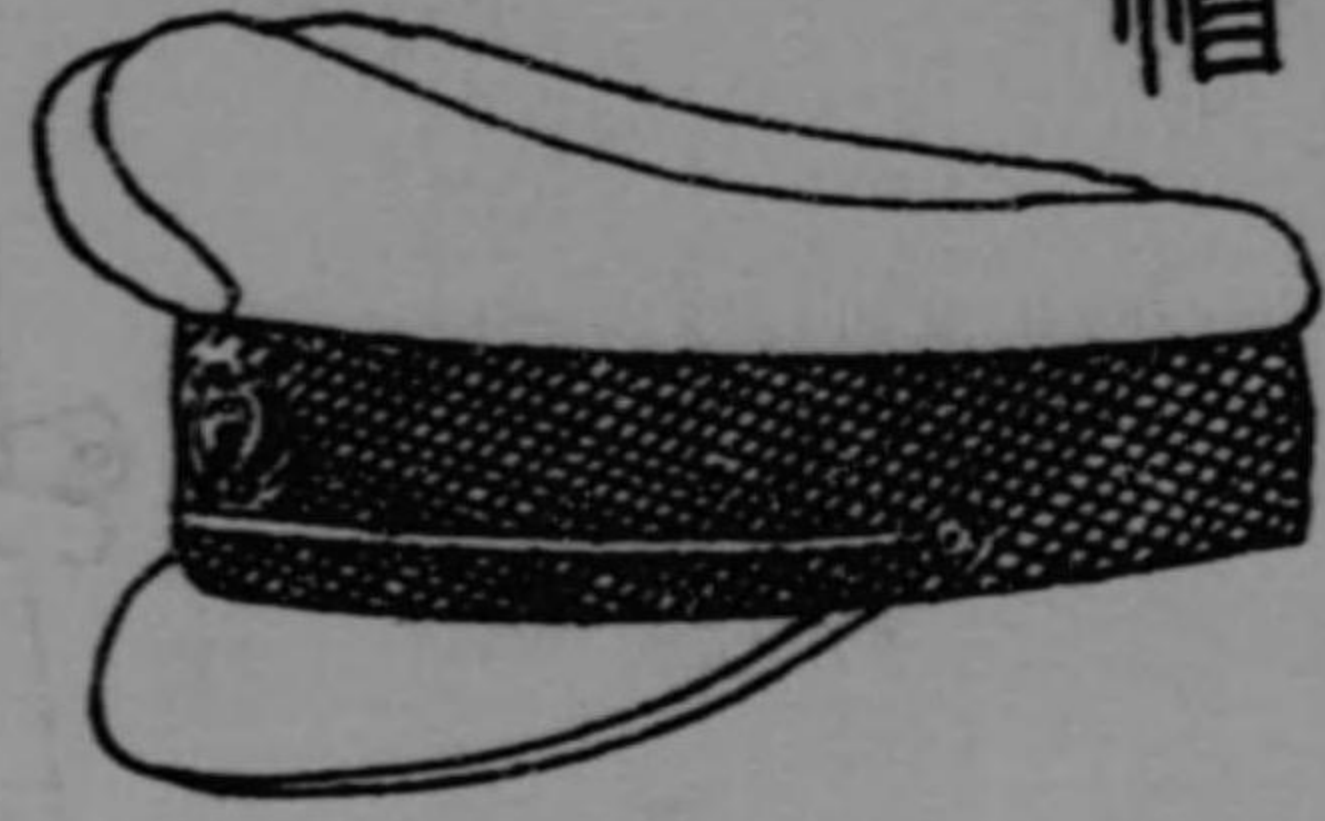
制式 如圖

靴

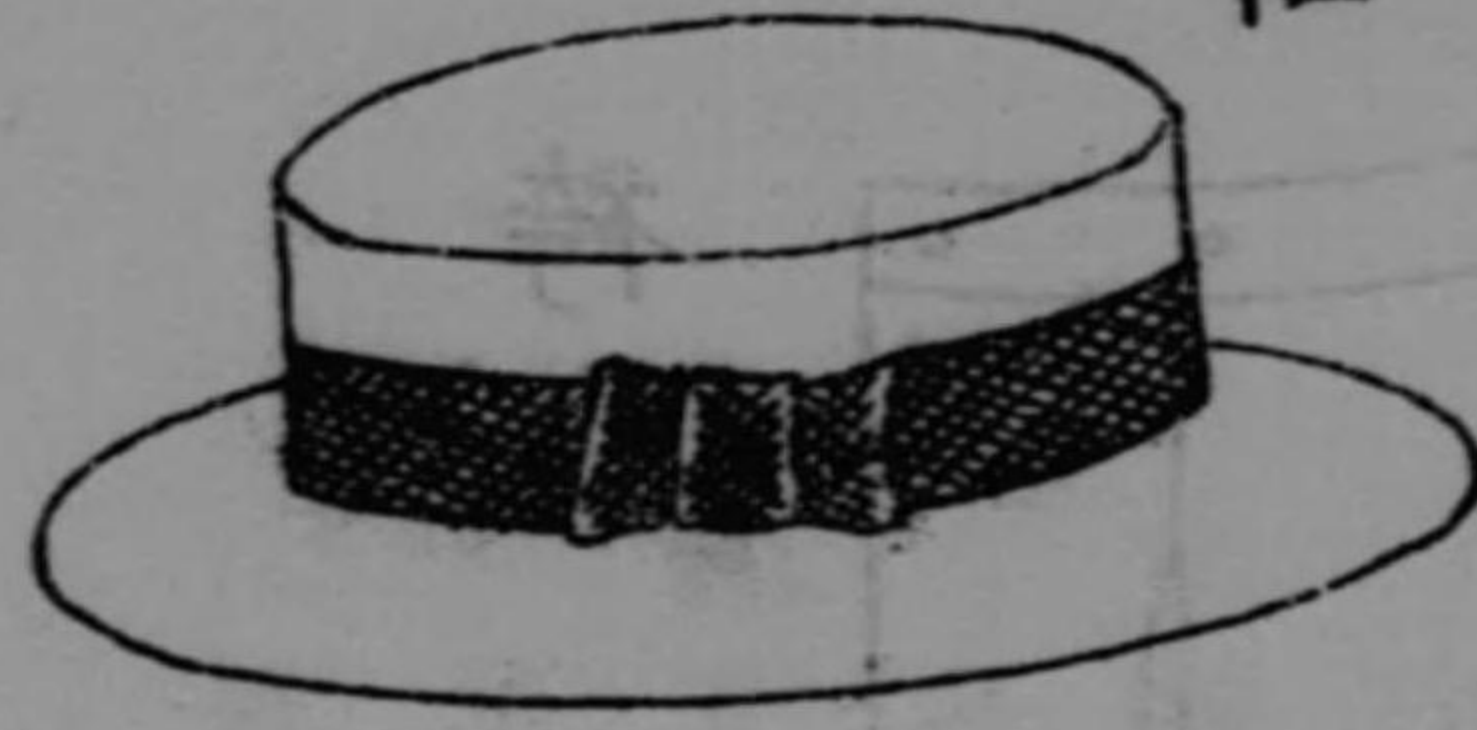
黑色但シ教練ノ際ハ編上靴若ハ深護謨靴ニ限ル教練ノ際ハ茶褐色ノ卷脚袴ヲ用フヘシ

外套ヲ着用スル場合ハ黒又ハ黒味勝質素ノ地質ノモノヲ撰フヘシ

正帽



略帽



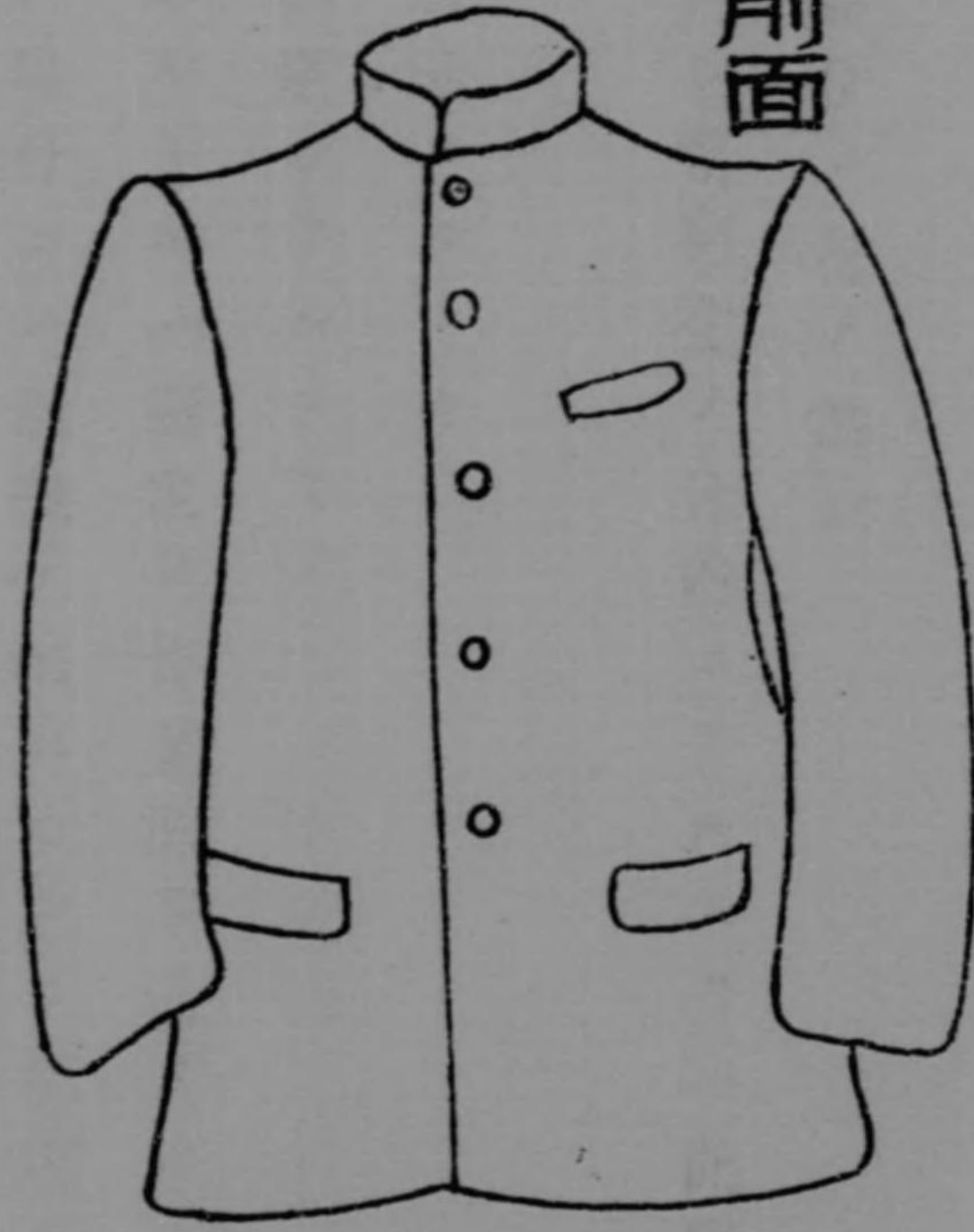
前章



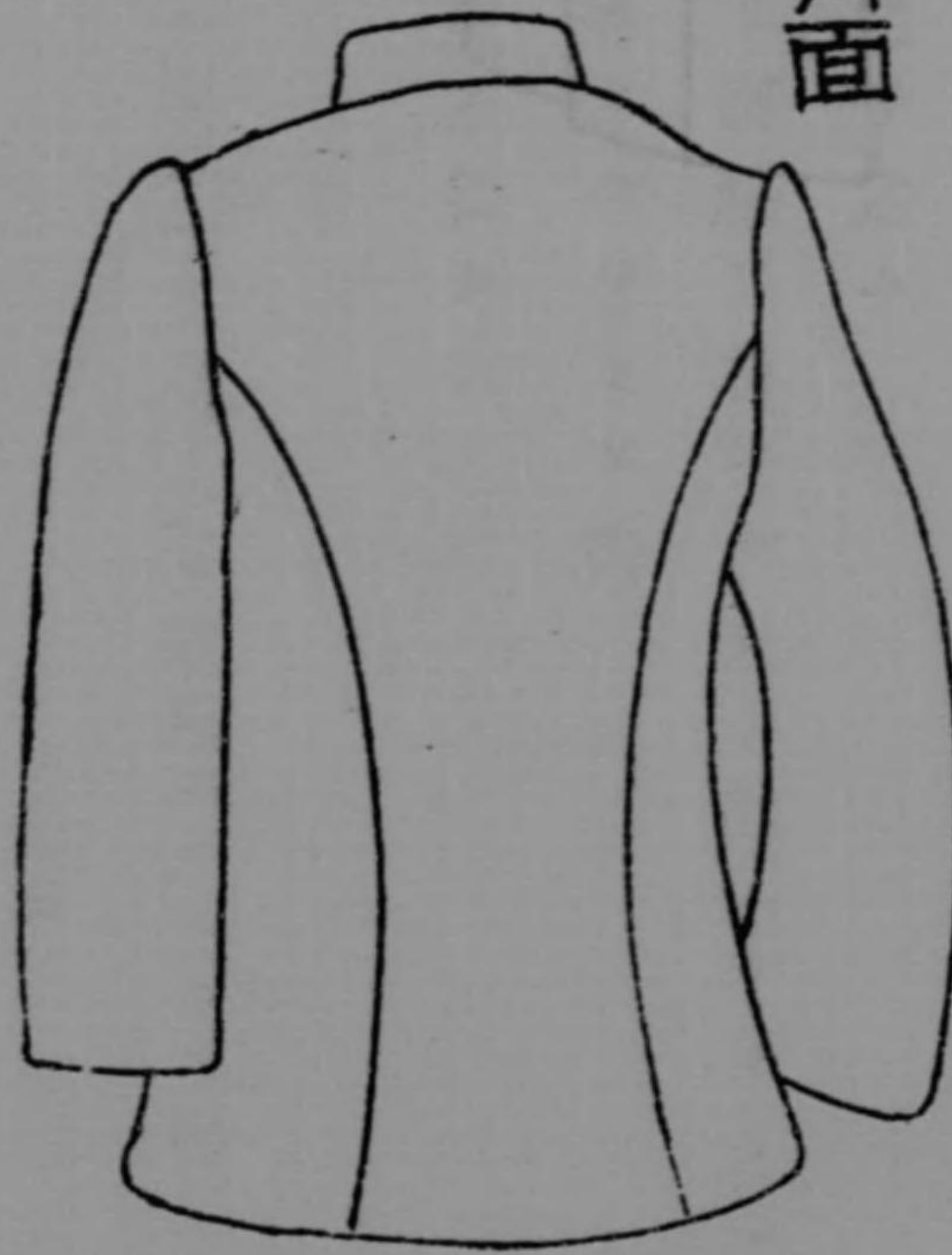
鈕

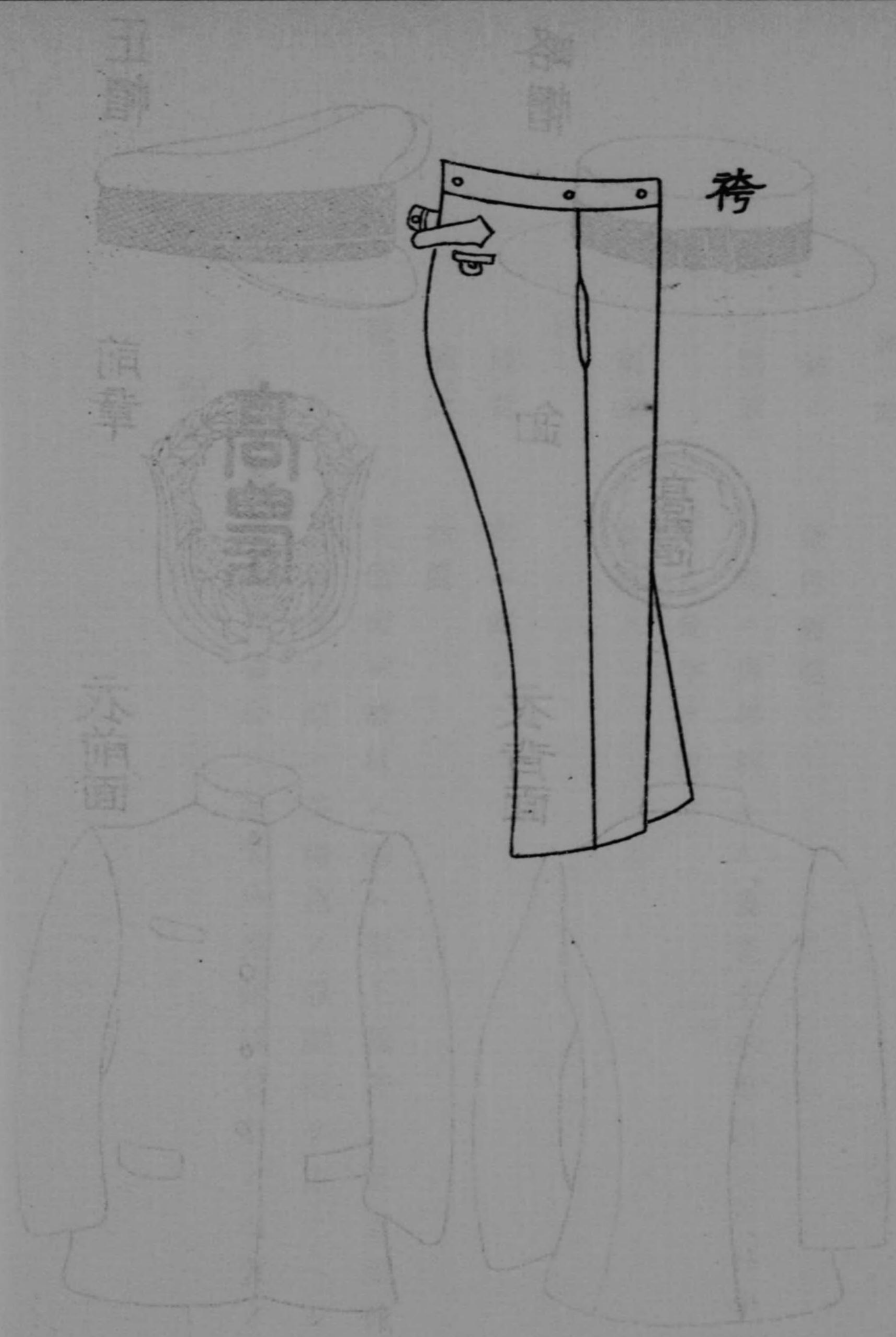


衣前面



衣背面





第二條 制服ヲ着用スヘキ場合ハ左ノ如シ

一、本校ニ出入スルトキ、但シ寄宿生ノ舍内ニアルトキハ此限ニアラス

二、本校學生タルコトヲ表示スルトキ

三、其ノ他本校ヨリ特ニ指定シタルトキ

第三條 實習實驗等ニ従事スルトキハ所定ノ作業服ヲ着用セシムルコトアルヘシ但シ必要アル場合ニハ教練ノ際ニモ之ヲ使用セシム作業服ノ地質及制式ハ別ニ之ヲ定ム

第四條 疾病其他ノ事故ニ依リ制服ヲ着スルコト能ハサル者ハ生徒主事ノ許可ヲ得テ和服ヲ着用スルコトヲ得

第五條 冬服夏服ノ着用期間左ノ如シ

冬服 自十月一日至五月十五日

夏服 自五月十六日至九月三十日 但シ第一學年生ハ五月一日ヨリ之ヲ着用スルコトヲ得

細則



第六條 夏服着用期間ハ略帽(麥莖)帶布黒無地織、前章正帽ノ場合ニ同シヲ用ユルコトヲ得

第七條 學生外出スルトキハ制服又ハ袴、制帽ヲ着用スヘシ

第八條 新入學生ハ五月一日マテニ制服ヲ調製着用スヘシ

第九條 選科生ニハ本規程ヲ準用ス但シ衣ニ襟章ヲ附セサルモノトス

附則

一、本規程ハ大正十四年九月十一日ヨリ之ヲ施行ス

二、本規程施行期日以前ノ入學者ハ左ノ事項ヲ除キ舊規程ニ依ルコトヲ得

イ、靴及卷脚袴ハ本規程ニ依ル

ロ、冬服ハ大正十四年度入學者ヨリ本規程ニ依ル

六、寄宿舎規程(大正十一年九月十三日制定)

第一條 寄宿舎ハ本校學生ヲ寄宿セシムル所トス

第二條 學生入舎ノ際ハ保證人連署ノ上入舎願ヲ學校長ニ差出スヘシ

第三條 舎生ハ猥リニ退舎スルコトヲ得ス但シ己ムヲ得サル事由ニ依リ退舎セントスル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ保證人連署ノ上生徒主事ヲ經テ學校長ニ願出ツヘシ疾病ニ因ルモノハ學校醫ノ診斷書ヲ添付スルヲ要ス

第四條 寄宿舎ニ委員六名、室總代若干名ヲ置ク委員ハ舎生ノ互選ニ依ル候補者中ニ就キ學校長之ヲ命シ室總代ハ室員ノ互選ニ依リ生徒主事之ヲ命ス

委員長及室總代ノ任期ハ一學期間トス

第五條 委員ハ生徒主事及學生課員ノ指揮ヲ承ケ舎内一般ノ風紀衛

生及會計炊事等ノ事ニ當リ兼テ命令其ノ他ノ事項ヲ傳達スルコトヲ掌ル

第六條 室總代ハ室内整理ノ責ニ任シ兼テ室員ヲ代表ス

第七條 各室員ノ配當ハ生徒主事之ヲ定ム

第八條 舍内日課時限ハ學校長ノ許可ヲ受ケ生徒主事之ヲ定ム

第九條 起床、就寢、喫飯及人員點檢ノ時刻等ハ振鈴、喇叭又ハ半鐘ヲ以テ之ヲ報ス

第十條 舍内ニアリテハ靜肅ヲ守リ他人ノ勉學及安眠等ヲ妨害スル所爲アルヘカラス

第十一條 常ニ室内外ノ清潔整頓ニ努メ舍内ニ於テ苟モ不潔汚穢ノコトナキ様留意スヘシ

第十二條 常ニ火氣ノ取扱ニ注意シ決シテ危險ノ所爲アルヘカラス

第十三條 室内備付ノ器具ハ猥リニ所定ノ位置ヲ變ヘ又ハ模様更ヘ

ヲ爲スヘカラス

第十四條 修業上必要ノ書類及物品ノ外ハ生徒主事ノ許可ヲ得ルニアラサレハ携帯スルコトヲ得ス

第十五條 荷物ヲ門外ニ持テ出サントスルトキハ學生課ノ許可ヲ受クヘシ

第十六條 舍内ノ物品ヲ毀損又ハ亡失シタルトキハ之ヲ辨償セシム若シ毀損者亡失者判明セサルトキハ舍内又ハ室内一同ノ者ヲシテ之ヲ辨償セシムルコトアルヘシ

第十七條 舍内ニ於テハ上草履又ハスリツバノ外用フヘカラス

第十八條 火災其ノ他非常ノ事變アル場合ニハ舍生一同協力シ生徒主事及職員ノ指揮命令ニ從ヒ危害ノ防止ニ盡カスヘシ

第十九條 疾病ニ罹リタル者又ハ金錢物品ヲ紛失シタル者アルトキハ速ニ本人又ハ室總代ヨリ其ノ旨學生課ニ届出ツヘシ

第二十條 舍内ニ談話室、圖書室、會議室及娛樂室等ヲ設ケ別ニ定ムル所ニ依リ之ヲ使用セシム

第二十一條 食堂ニハ定時ノ外猥リニ出入スヘカラス若シ定時外喫飯ヲ要スル者ハ學生課ノ許可ヲ受クヘシ

第二十二條 定時間外若シ入浴ノ必要アルトキハ豫メ學生課ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第二十三條 外來人ニ面會スルトキハ必ス應接室ニ於テスヘシ但シ止ムヲ得サル場合ニ於テハ學生課ノ許可ヲ受ケ其ノ他ノ室ニ於テ面會スルコトヲ得

第二十四條 人員點檢ノ際ハ所定ノ場所ニ於テ生徒主事又ハ學生課員ノ點呼ニ應スヘシ但シ病氣其ノ他ノ事故ニ依リ點檢ヲ受クルコト能ハサル者ハ其ノ旨豫メ届出ツヘシ

第二十五條 止ムヲ得サル事情ニ依リ所定ノ時限外ニ外出セントス

ルトキハ豫メ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ

第二十六條 疾病ノ爲メ缺席、缺課シタル場合ハ其ノ當日ハ外出スルコトヲ得ス但シ生徒主事ノ許可ヲ得タル者ハ此限ニアラス

第二十七條 外出中止ムヲ得サル事故ニ依リ歸舍時限ニ遅レタルトキハ其ノ事由ヲ詳記シ翌日中ニ届出ツヘシ

第二十八條 止ムヲ得サル事情ニヨリ外泊又ハ旅行セントスルトキハ豫メ其ノ事由、日數及外泊先又ハ旅行先ヲ記シ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ其ノ歸舍ノ際ハ宿所先ノ證明書ヲ差出スコトヲ要ス  
外出中俄ニ外泊スルノ必要ヲ生シ前項ノ手續ヲ履ム能ハサルトキハ當日歸舍時限マテニ其ノ事由ト居所トヲ届出テ歸舍ノ際宿泊先ノ證明書ヲ差出スヘシ

第二十九條 疾病ニ罹リタル者ハ校醫ノ診斷ニ依リ病室ニ於テ治療ヲ受ケシメ重病、傳染病若ハ全治ニ日數ヲ要スルトキハ期間ヲ定メ

入院又ハ外泊セシムルコトアルヘシ

第三十條 食費及雜費ハ指定ノ日ニ必ス之ヲ支拂フヘシ

七、寄宿料規程(大正十一年九月十三日制定)

第一條 本校寄宿舎ニ入舎スル者ハ寄宿料ヲ納付スヘシ但シ特待生ニハ之ヲ免除ス

第二條 寄宿料ハ一箇年金拾六圓五拾錢トス

第三條 寄宿料ハ一箇年ヲ左ノ三期ニ分チ之ヲ徴收ス

第一期 自四月 至八月 金六圓

第二期 自九月 至十二月 金六圓

第三期 自一月 至三月 金四圓五拾錢

第四條 寄宿料ハ第一期ハ四月十一日ヨリ同十五日マテ第二期ハ九月十一日ヨリ同十五日マテ第三期ハ一月十一日ヨリ同十五日マテ

ニ本校會計課ヘ納付スヘシ

第五條 半途入舎スル者ハ其ノ期ノ寄宿料ヲ一箇月金壹圓五拾錢ト

シ月割ヲ以テ入舎ノ日ヨリ五日以内ニ納付スヘシ

前項ニ依リ算出シタル金額其ノ期ノ全額ヨリ多キトキハ其ノ期ノ全額トス

第六條 寄宿料徴收期日以前ニ退舎スルモノハ一箇月金壹圓五拾錢ノ月割ヲ以テ即時納付スヘシ

第七條 一旦納付シタル寄宿料ハ半途退舎スルト雖之ヲ返付セス

第八條 寄宿料ヲ期限内ニ納付セサルトキハ本人ニ催告シ尙納付ヲ怠ル者ヲ本校規則第二十八條ニ準シ處分ス

八、授業料徴收規程(大正十一年九月二日制定)

第一條 授業料ハ左ノ期間内ニ之ヲ徴收ス

第一期 四月十一日ヨリ同十五日マテ

第二期 九月十一日ヨリ同十五日マテ

第三期 一月十一日ヨリ同十五日マテ

第二條 本校規則第五十條第二項第五十一條ノ規定ニ該當スルモノハ其ノ事項發生ノ日ヨリ五日以内ニ授業料ヲ納付スヘシ

第三條 授業料ヲ徵收期限マテニ納付セサルキキハ之ヲ催告シ催告後尙怠納五日以上ニ亘ル者ハ其ノ出席ヲ停止シ但シ特別ノ事情ニ依リ會計課ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四條 實驗實習費ヲ徵收スルトキハ別ニ其ノ金額及徵收日ヲ告示ス

第二條及第三條ノ規定ハ實驗實習費ニ關シ之ヲ準用ス

九、通學生規程 (大正十一年九月十四日制定)

第一條 通學生ハ本校ニ於テ適當ト認ムル宿所ニ寄宿スヘキモノトス

第二條 通學生其ノ宿所ヲ定メントスルトキハ豫メ宿所願ヲ差出生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ宿所變更ノ場合亦同シ

宿所願記載事項ニ變更ヲ生シタル場合ハ直ニ其ノ旨届出ツヘシ  
第三條 通學生ハ本校學生二名以上同宿スヘシ但シ父兄其ノ他尊屬ノ居所ヨリ通學スル者又ハ止ムヲ得サル事情アル者ハ此ノ限ニ在ラス

第四條 通學生ノ宿所ニシテ不適當ナリト認ムルモノアルトキハ日ヲ限リ之ヲ變更セシムヘシ

第五條 通學生ハ本校所定ノ標札ニ姓名ヲ記載シ之ヲ宿所ノ門戸ニ掲クヘシ但シ本校ノ學籍ヲ脱シタルトキ又ハ休學中ノ者ニシテ學校所在地ヲ去ラントスルトキハ直ニ標札ヲ學生課ニ返付スヘシ

第六條 通學生ニシテ旅行、外泊又ハ歸省一週間以上ニ亘ルトキハ其ノ事由ヲ具シ豫メ學生課へ届出ツヘシ

第七條 通學生ノ宿所ハ本校職員隨時之ヲ點檢スヘシ

一〇、非常警備及手配規程(大正十二年一月三十一日制定)

第一 警 備

第一條 暖爐又ハ火鉢使用中ハ巡視及小使時々各室ヲ巡視シ火氣ノ疎漏ナキ様注意スヘシ

學生控所又ハ一時授業ヲ爲ササル教室等ハ特ニ毎時間授業開始後十分以内ニ之ヲ巡視スヘシ

第二條 終業又ハ退廳ノ際ハ小使直ニ暖爐火鉢等ノ殘火ヲ取除キ火氣全ク去リタル後叮嚀ニ之ヲ掃除スヘシ暖爐又ハ火鉢使用中ハ職員退廳ノ際巡視又ハ小使ニ其ノ旨ヲ告ケ退廳スヘシ

第三條 寄宿舎ニ於テハ學生不在中小使時々各室ヲ巡視シ火氣ヲ警戒スヘシ

寄宿舎生ハ始業、就寢又ハ外出十分前各自使用ノ火鉢ヲ火氣ノ疎漏ナキ様室外廊下ニ出シ小使ハ直ニ其ノ殘火ヲ取除クヘシ

第四條 炊事場及風呂場ニ於テハ火夫及炊夫常ニ火氣ヲ警戒シ用火後ハ能ク其ノ殘火ヲ取除クヘシ

第五條 火氣及焚灰等取除キ及運搬ノ際ハ疎漏ナキ様能ク注意シ取除キタル火氣及焚灰等ハ一定ノ場所ニ持テ行キ充分之ヲ始末スヘシ

第六條 小使、火夫及炊夫ハ火氣、焚灰等ヲ取除キ其ノ始末ヲ終リタルトキハ直ニ之ヲ宿直員ニ報告スヘシ

宿直員前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ直ニ巡視寄宿舎ニ在リテハ小使ト共ニ之ヲ臨檢シ萬一ニモ過失ナキ様注意スヘシ

第七條 室ノ出入口ニ鎖鑰ヲ施ス必要アルモノハ火氣ヲ取除キタル後二時間ヲ經過シ二回以上點檢シタル上之ヲ施スヘシ

第八條 夜間ハ宿直員一回以上及巡視二回以上各建物ノ内外ヲ巡視シ萬事警衛ノ任ニ當ルヘキハ勿論巡視ノ際特ニ火氣ニ注意スヘシ寄宿舎ニ在リテハ舍生就寢一時間後火夫又ハ小使一回以上舍内ヲ巡視スヘシ

第九條 構内ニ在リテハ特定ノ場所以外ニ於テ喫煙又ハ焚火ヲ爲スヘカラス

煙草吸殻ハ必ス火鉢又ハ灰吹ニ棄入スヘシ

第十條 暖爐火鉢運火器等使用中ハ破損ノ箇所ナキ様常ニ注意シ若シ之ヲ發見シタルトキハ直ニ其ノ使用ヲ禁シ修理ヲ加フヘシ煙突ハ毎週一回之ヲ掃除スヘシ

第十一條 倉庫ノ入口及窓ノ非常口ハ會計課ニ於テ時々閉鎖ヲ試ミ

其ノ完全ヲ計リ且ツ常ニ目塗用土ヲ所定ノ場所ニ備ヘ置キ臨機使用ニ差支ナキ様注意スヘシ

第十二條 職員及傭人ハ終業又ハ退廳ノ際書類器具及機械等ハ夫々整頓シ容器アルモノハ之ニ納メ鎖鑰アルモノハ之ヲ施シ所定ノ場所ニ置キ又非常ノ場合第一ニ持退ノ要アル重要書類其ノ他貴重物品ノ容器ニハ見易キ箇所ニ「非常持退」ト朱書シタル紙片ヲ貼付シ置クヘシ

第十三條 火災警備ニ付テハ職員學生及傭人等一同常ニ能ク注意シ苟モ災害ノ起ラサル様心掛クヘシ若シ之ニ關シ不都合ノ行爲又ハ處置ヲ認メタルトキハ臨機ノ措置ヲ爲シ直ニ建物監守者擔任教官又ハ會計課長ニ之ヲ通報スヘシ

第十四條 火災風害等非常事變豫防ノ爲メ建物監守者及會計課長ハ常ニ警備監督ノ任ニ當ルヘシ

實驗又ハ實習ニ火氣ヲ使用スル場合ハ擔任教官主トシテ其ノ責ヲ負ヒ警備監督ノ任ニ當ルヘシ

第十五條 火災其ノ他非常事變ノ警備ニ關シ若シ不都合ノ行爲又ハ處置ヲ認メタルトキハ建物監守者擔任教官又ハ會計課長ハ之ニ嚴重ナル戒諭ヲ加ヘ又ハ適當ノ措置ヲ爲シ之ヲ學校長ニ報告スヘシ

第二 手配

第十六條 校内ノ失火等非常事變ノ際ハ宿直員巡視又ハ小使其ノ他之ヲ知リタル者ハ直ニ最寄備付ノ消火器又ハ給水栓及布ホース等ヲ以テ手後レナキ様相當ノ手配ヲ爲シ同時ニ當該建物監守者擔任教官會計課長及學校長ニ急報スヘシ

第十七條 校内ノ出火又ハ近火等ニシテ多人數ノ手配ヲ要スト認ムル場合ニハ前條ノ外警鐘及其ノ他ノ方法ヲ以テ廣ク之ヲ急報シ且ツ速ニ警察署ニ報知スヘシ

第十八條 前條ノ急報ヲ聞キタルトキハ職員及傭人一同直ニ駆付ケ上官ノ指揮ニ從ヒ各其ノ部署ニ就クヘシ

學生ハ寄宿舎玄関前庭ニ集合シ各掛長ノ指揮ヲ受クヘシ  
第十九條 校内失火又ハ近火ニシテ延燒ノ虞アリト認ムルトキハ庶務課員又ハ宿直員ニ於テ先ツ御眞影並勅語帳本ヲ校内安全ノ場所ニ奉遷警護シ上官ノ指揮ヲ俟ツヘシ

第二十條 火災ノ手配ヲ分チテ左ノ三掛トシ夫々分掌ノ手配ニ從事スルモノトス

- (イ) 防火掛
- (ロ) 連搬掛
- (ハ) 警戒掛

第二十一條 各掛ノ分掌ヲ定ムルコト大要左ノ如シ  
(イ) 防火掛



- 一、校内出火ノ際ハ直ニ備付ノ消火器及唧筒ヲ使用シ専ラ消防ヲ爲スコト
  - 二、近火ノ際ハ適宜ノ場所ニ唧筒ヲ引キ出シ延燒ノ虞アルトキハ建物ニ水ヲ注キ充分豫防ヲ爲スコト
  - 三、防火上障害ト認ムルモノハ之ヲ撤去又ハ破壊スルコト
- (ロ) 運搬掛

- 一、校内ノ書類、圖書、器具、機械其ノ他ノ物品ヲ安全ノ場所ニ運搬スルコト
- 二、物品ヲ運搬スル順序ハ火元最寄ノ場所ヨリ始メ且ツ、非常持退ト記シタル貴重品ヲ先ニシテ書類、圖書其ノ他一般ノ物品ニ及フコト

(ハ) 警戒掛

- 一、學校ノ周圍ヲ警戒シ本校職員學生備人其ノ他官衙ノ職員、警

官、消防夫及常時出入ノ諸商人職工ノ外ハ入ルヲ禁止スルコト

- 二、出入口ニ受付所ヲ設ケ出入者ヲ監視シ且ツ駈付人氏名等ヲ書キ留メ置クコト

- 三、始終校内ヲ巡邏シ盜難等ヲ警戒スルコト、特ニ搬出シタル物品ニハ監視者ヲ付シ嚴重ニ取締ヲ爲スコト

- 四、倉庫ヲ警戒シ其ノ出入口及窓等ニ目塗ノ用意ヲ爲シ物品運搬ノ上又ハ運搬ヲ俟タス直ニ之ヲ締切ル等適宜手配ヲ爲スコト

- 五、夜中ニ在リテハ玄關ニ高張提灯ヲ點シ其ノ他要所ニ點燈シ又各所入口開扉ノ用意ヲ爲スコト

第二十二條 各掛ニ長ヲ置キ學校長之ヲ命ス但シ非常ノ際掛長駈付ケ得サルトキハ臨機在校職員上官ノ指揮ヲ受ケ其ノ任ニ當ルヘシ職員及備人ノ部署ハ別ニ之ヲ定ム

學生ノ部署ハ寄宿舎生ニ就キ別ニ之ヲ定ム、通學生ハ學生課長又ハ教官ノ指揮ニ從ヒ臨機適當ノ部署ニ就クモノトス、前項職員、備人及學生ノ部署ハ非常ノ際臨機之ヲ變更スルコトアルヘシ

第二十三條 左ノ非常用具ハ各掛長ニ於テ能ク之ヲ整頓保管シ、唧筒其ノ他ノ器類ハ時々之ヲ點檢試用シ、常ニ支障ナカラシメンコトヲ要ス

- 一、唧筒
- 一、消火栓ホース及同筒先
- 一、梯子
- 一、鋸、掛矢及頭布(刺子)
- 一、高張提灯及非常用提灯
- 一、消火器
- 一、玄蕃桶
- 一、鷹口及刺股
- 一、運搬用擔架ヅツク袋
- 一、蠟燭及摺附木

第二十四條 消火器ハ各建物内適當ノ場所ニ之ヲ配置スヘシ

消火器ニハ藥品充填ノ年月日及其ノ有効期間ヲ記シ有効期日ノ滿タサル前藥品ノ充填換ヲ爲スヘシ、當該建物監守者及會計課員ハ時々消火器ノ効力ヲ試驗スヘシ

第二十五條 職員、學生及備人ハ平素消火器ノ所在及用法ヲ心得置キ非常ノ場合之ヲ有効ニ使用スル様心掛クヘシ、每學期一回以上職員、學生及備人一同火災手配ノ演習ヲ爲スヘシ、但シ警鐘ヲ打チ臨時演習ヲ行フコトアルヘシ

十一、外國人特別入學細則 (昭和二年三月三十一日制定)

第一條 文部省直轄學校外國人特別入學規程ニ依リ外國人ニシテ本校ノ教授ヲ受ケントスルモノアルトキハ設備上支障ナキ場合ニ限リ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第二條 前條ノ志願者ハ其ノ學修セントスル學科目ヲ定メ入學願書

履歷書、修業學校長ノ修業證明書並外務省在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館或ハ監督署ノ紹介書ヲ添ヘ學校長ニ願出ツヘシ

第三條 志願者ノ學力ヲ試験ニ依リ檢定スル必要アル場合ハ入學檢定料金五圓ヲ徴收ス

第四條 疾病其ノ他己ムヲ得サル事由ニ依リ休學又ハ退學セントスル者ハ入學出願ノ際紹介ヲ受ケタル官署ヲ經テ出願スヘシ

第五條 在學中ノ成績適當ナリト認メタル者ニハ修了證書ヲ授與ス

第六條 本細則ニ定メナキモノハ總テ本校規則中選科生ニ關スル規定ヲ準用ス

附則 第七條 朝鮮人及臺灣人ニシテ特別入學ヲ願出ツルモノアルトキハ當分ノ内本細則ニ依リ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

### 第六 職員 (就職順)

學校長

從四位 勳三等 農學士 上原種美

教授

修身 (兼) 學校長 上原種美

森林理水及砂防工學、森林工學 從五位 林學士 伊藤武夫

植物學及植物病理學 正六位 農學士 高橋隆道

英語、獨乙語、修身 生徒主事 正六位 文學士 岡言智

養蠶學、動物學、實驗遺傳學 正六位 農學博士 農學士 宇田一

森林利用學、林産製造學、數學 陸軍歩兵少尉 正六位 林學士 關谷文彦

(在外研究中) 正六位 理學士 北川久五郎

職員

職員

林政學、財政學、法學通論、行政法大意  
作物學、育種學

農業工學、農業水利學、耕地整理論

農業機械學、測量學

應用力學、材料及施工法、道路及橋梁

化學及分析、土壤學及肥料學

森林經理學、造林學

農業經營學、農政學、植民政策、經濟學

園藝學

助教

養蠶學、昆蟲學

園藝實習、園藝學

測量實習、林學實習、測樹學

正六位 林學士 川田 繁治郎

從五位 勳六等 農學士 增淵 次助

正六位 農學士 森澤 省己

陸軍歩兵少尉 從六位 農學士 河合 隼人

從六位 農學士 松田 俊正

從六位 農學士 稻川 次郎

從六位 農學士 山本 光政

從六位 農學士 中野 清作

從六位 農學士 丹羽 鼎三

(兼) 書記 篠田 平三郎

生徒主事補 園藝得業士 宮入 武雄

林學得業士 動學八等士 野知里 慶助

講師

林學實習、林產製造學、森林保護學

應用水理學、測量實習

原動機及揚水機、機械學實習

農產製造學、化學

數學、測量實習、應用力學

農場實習、作物學

礦物學及地質學

體操

肥料學

土壤學

農業經營學

林政學、森林法規

職員

陸軍歩兵少尉正八位 林學得業士 馬岡 隆清

工學得業士 近坂 百一

工學得業士 内海 市次郎

農藝化學得業士 長瀬 重藏

農業土木學得業士 渡邊 小太

從六位 香月 喜六

從七位 矢作 菊藏

陸軍工兵少佐 正六位 勳五等 米倉 嘉弼

正五位 勳五等 農學博士 恒藤 規隆

地方農林技師 從六位 田口 武之助

京都帝國大學助教授 正七位 農學士 大槻 正男

東京帝國大學教授 正五位 林學博士 林學士 園部 一郎

職員

獨乙語

農學大意

物理學、氣象學

獸醫學

畜產學

三重縣立實業教員養成所教諭從六位

理學士

三重縣立農林學校教諭農學士

農林畜畜產試驗場技師農學士

文學士

加藤行信

橫川十二

竹山說三

佐々成

芝田清吾

庶務課

課長

書記

篠田平三郎

(兼)書記

小野春次

(兼)書記

廣岡順三

雇

丸川倫

雇

山川忠雄

會計課

課長

物品會計官  
吏出納官吏  
從七位  
助八等

池田松太郎

教務課

課長

教授

高橋隆道

書記

廣岡順三

雇

大村幸男

學生課

課長

生徒主事  
舍監  
教授

岡言智

生徒主事  
教授

中野清作

生徒主事補  
助教授

宮入武雄

職員

圖書課

課長

舍監	助教授	內海市次郎
舍監	助教授	野知里慶助
舍監	講師	米倉嘉弼
會監	囑託	田中宗三郎
雇		重倉龜太郎

學科主事、農場長、演習林長

農學科主事  
 農業土木學科主事  
 林學科主事

教	授	丹羽鼎三
勤	雇	藤枝儁一
七	等	增井幸次郎
教	授	增淵次助
教	授	森澤省己
教	授	伊藤武夫

農場長心得  
 演習林長

助手

講	師	香月喜六
教	授	伊藤武夫

農學科勤務  
 農場勤務  
 化學教室勤務  
 物理學教室勤務  
 農業土木學科勤務  
 農學科勤務  
 農業土木學科勤務  
 林學科勤務  
 農場勤務  
 農學科及氣象觀測勤務

工藤仙次	片岡武造	內藤秀男	丸山增次郎	伊藤實	小野篁	今岡正一	森倉良溢	清水敦	福田良著
------	------	------	-------	-----	-----	------	------	-----	------

職員

林學科勤務

農學科勤務

同

農業土木學科勤務

農學科勤務

林學科勤務

同

囑託

體操

柔道教師

劍道教師

教練

配屬將校

山川 浩太郎

増地 良秋

樋田 節雄

本多 爲三郎

田曾 純吾

鬼武 幹亮

上田 太郎

陸軍歩兵特務曹長  
勳七等

田中 宗三郎

近藤 善平

近藤 信勝

陸軍歩兵少佐  
正六位勳四等

清水 定次郎

校醫

三重縣學校衛生技師  
正七位

小芝 一雄

從五位勳四等

朝岡 龍太郎

第七學 生

昭和三年九月一日現在

一、學生氏名 (五十音順)

農學科第三學年

伊藤 馨三重 井上一己 和歌山

井野 周太郎 京都

井樋 信雄佐賀 内山 榮兵庫

大河内 恒夫 愛知

大城 清茂沖繩 岡本 勇奈良

岡谷 義雄 愛知

加藤 平壽愛知 北村 繁太郎滋賀

桑原 正三 愛知

木曾 忠夫群馬 小西 眞奈良

笹岡 一郎 奈良

學生

佐藤 甚七 岐阜  
 田中 助參 福井  
 野上 富士夫 京都  
 廣瀬 清孝 石川  
 南元 檜司 奈良  
 森濱 重義 三重  
 下井 友一 三重  
 土井 孫悅 山形  
 信宗 虎夫 廣島  
 藤繩 慶夫 富山  
 宮原 道朋 廣島  
 山田 實 和歌山

農學科第二學年

阿部 一美 福岡  
 今井 忠 新潟  
 奧野 貞雄 京都  
 龜井 昌直 三重  
 楠 恒三 靜岡  
 米本 元信 三重  
 磯部 次郎 神奈川  
 今西 清 京都  
 柏 祐賢 富山  
 河村 有江 廣島  
 栗林 武男 茨城  
 後藤 俊雄 愛知

鈴木 徹三 愛知  
 西間木 正己 福島  
 野村 千秋 長野  
 細田 一夫 兵庫  
 森 榮左衛門 愛媛  
 吉川 正信 京都

一色 重夫 滋賀  
 大河内 秀樹 愛知  
 金井 修 兵庫  
 木村 泰次郎 靜岡  
 小池 保 岐阜  
 齋藤 修三 岐阜

齊藤 八十藏 三重  
 關澤 乙吉 新潟  
 中川 春一 群馬  
 中津 繁雄 岐阜  
 永田 盛一 兵庫  
 日野 重三 愛媛  
 村田 茂三 三重  
 吉田 彦太 佐賀

農學科第一學年

阿部 三郎 德島  
 伊藤 幸雄 三重  
 岩田 茂三 三重  
 加藤 寛三 三重

四方 恒次 大阪  
 高木 保郎 岐阜  
 中島 清見 長野  
 中森 孝治 三重  
 練尾 一雄 岡山  
 平城 俊文 福岡  
 森本 重德 大阪

荒井 進 福井  
 井上 石衛 長崎  
 岩中 信市 三重  
 木下 英雄 愛知

白水 透 宮崎  
 田中 敏郎 三重  
 中谷 壽兵 兵庫  
 長岡 忠二郎 大阪  
 服部 一郎 愛知  
 松田 祐一 沖繩  
 山本 善次郎 大阪

飯森 政義 石川  
 岩田 明三 三重  
 海野 九郎 三重  
 木室 弘 福岡



熊谷 又吉 長野	小林 茂 愛知	小林 幸九 三重
小堀 英治 福岡	小山 美則 大分	近藤 四郎 京都
阪中 憲一 和歌山	塩井 匡夫 三重	清水 武夫 三重
砂川 尙一 兵庫	諏訪 三郎 岐阜	田中 收治 愛知
田中 昇三 東京	田村 十治 山口	辻 藤次郎 三重
富野 耕治 愛知	中根 喜猷 三重	永田 義雄 愛知
西野 半三 大阪	西村 清一 京都	長谷川 武 愛知
松原 喬夫 島根	真鍋 藏六 山口	港井 清七郎 京都
村田 武夫 三重	森田 安雄 富山	柳 彰三 三重
安田 隆一 山口		

農業土木學科第三學年

荒井 末造 岐阜	荒木 甚一 三重	家木 忠信 三重
市川 康三 岐阜	伊藤 俊雄 福岡	岩崎 祐一 三重

內田 隆兵 兵庫	大庭 元則 靜岡	小河原 田長 長野
笠松 清宮 城	川口 幸村 三重	倉田 儀郎 三重
小島 盈岐 岐阜	佐野 鏗爾 三重	城野 橋雄 三重
大坊 吉則 岩手	高木 勝 北海道	高崎 恒夫 三重
外岡 敏夫 靜岡	永井 儀夫 兵庫	長濱 昌英 福岡
西山 清茂 三重	日下 龜治 和歌山	前川 德太郎 三重
前田 由之助 三重	牧 鎰之輔 愛知	松井 重雄 兵庫
真鍋 正行 香川	水谷 尙三 三重	森田 宗二郎 三重
山手 壽人 福岡		

農業土木學科第二學年

新 重吉 鹿兒島	家木 忠恪 三重	石田 惣市 三重
磯部 五兵衛 三重	伊藤 貞三 三重	伊藤 俊夫 三重
伊藤 博夫 三重	上杉 勇三 三重	內山 勇三 三重

大泉 礪右三重	奧中 竹次郎 大阪	奧原 亮 長野
片岡 善龜 高知	加藤 千太郎 三重	木原 久次郎 京都
久保田 一男 岐阜	倉田 一郎 三重	酒井 德江 長野
篠崎 富男 埼玉	篠原 佑三 富山	島 明 富山
瀧本 一郎 兵庫	內藤 勇 愛知	中尾 米市 大分
中川 武男 三重	布谷 嘉明 三重	橋本 勝 大分
萩森 豐 愛媛	平野 泰弘 三重	福井 秀男 京都
星野 義一 愛知	増田 三郎 靜岡	三ツ野由太郎 北海道
山村 十木生 三重	八幡 卓 兵庫	渡邊 亘 福岡
荒川 清 愛知	石井 龜太郎 千葉	石崎 勝也 三重
井田 三津雄 三重	糸川 隆雄 三重	浦邊 良雄 千葉
大月 文雄 岡山	大西 四郎 三重	川北 賢三 三重

農業土木學科第一學年

河野 敬之 福岡	川村 恒夫 三重	岸田 五郎 三重
木下 榮吉 三重	小寺 德夫 大分	小山 實 新潟
坂口 傳一郎 三重	志田 房次 三重	下川 一雄 三重
下出 一男 三重	菅 英勳 岡山	鈴木 定吉 新潟
關口 元吉 群馬	高島 武三 三重	田上 正男 茨城
近石 義雄 香川	都竹 好雄 岐阜	戶田 正雄 富山
中井 清三 三重	中嶋 亮 大阪	行方 文吾 三重
根本 豊男 東京	服部 一男 奈良	服部 進三 三重
関 泳甫 朝鮮	福野 松雄 滋賀	細川 庄平 香川
松田 高朝 鹿兒島	宮崎 佳久 東京	柳井 貞二 廣島
山岡 次郎 三重	山口 竹次 佐賀	渡部 武 愛媛

林學科第三學年

足立 行夫 岐阜	伊藤 彌右衛門 愛媛	大石 勝治 靜岡
----------	------------	----------

大辻利勝 奈良	小木曾善三郎 愛知	川口了三 三重
川手治郎 廣島	小池敏夫 島根	鈴木平治 福島
鈴木愷 愛知	田村義雄 三重	坪坂博 大分
中島海老藏 京都	中谷邦武 岐阜	中村久三 三重
坪野陽一 愛知	西井伊兵衛 三重	野本傳 福岡
服部正直 三重	平野利一 和歌山	深谷亮治 岐阜
福島昇 福井	普光江左右吉 高知	森三郎 佐賀

林學科第二學年

阿部駒一 三重	石井英男 和歌山	上原正敏 長崎
小穴信一 長野	桶野良助 長野	片岡七夫 三重
勝部忠治 島根	金田友惠 福島	願興寺竹男 三重
北川孝三 三重	木津進 新潟	木根陽三 和歌山
倉田喜太郎 三重	近藤勇 三重	杉浦文夫 愛知

杉本榮之丞 三重	杉森一郎 三重	高野光衛 長野
伊達覺一 廣島	長澤一雄 山口	中尾二郎 三重
中村繁一 香川	中村丈夫 兵庫	中村道孝 宮崎
西垣二郎 新潟	西川正信 愛媛	野中淳治 三重
橋詰敏夫 高知	長谷川了三 三重	平島直材 宮崎
邊見芳夫 神奈川	前川勝己 三重	松山幹之 滋賀
宮田俊雄 三重	村山金重 福岡	百田林太郎 三重
梁田増次郎 秋田	山本安秋 香川	山室真一 岡山
横山義雄 福島	吉村寛逸 佐賀	

林學科第一學年

今津新太郎 岐阜	植松徳一 奈良	梅田徳藏 三重
岡磯吉 和歌山	岡野三十四 三重	岡森清治郎 三重
大塚一太 熊本	大西二郎 高知	大野静愛 媛

學生

一二三

尾崎芳一三重	鬼塚武男熊本	加藤清三重
小紫清平兵庫	小林米藏三重	駒田守三重
酒井源一愛媛	佐々木清吉岩手	柴田正次三重
田上一生三重	田中孝雄佐賀	田中俊次三重
近澤武生三重	柘植隆一三重	永田重道三重
八藤松男岡山	廣部誠自三重	福田利雄岡山
藤田修一岡山	細野三郎滋賀	本多泰愛知
松井弘作三重	松本政一三重	光岡正久佐賀
宮石又男愛知	矢野次雄廣島	吉田泰治新潟
若林二郎岡山		

農學科選科

本井

宏大阪

農業土木學科選科

咸泰

亨朝鮮

王家

麟中國

林學科選科

小林英生三重

二、學生數

學科	學生			合計
	第一學年	第二學年	第三學年	
農學科	四〇	四〇	三三	一一三
農業土木學科	四二	三六	三一	一〇九
林學科	三七	四一	二四	一〇二
總計	一一九	一一七	八八	三二四
				四
				一
				三二九

三、地方別學生數

道府縣	學生			合計
	農學科	農業土木學科	林學科	
北海道		二		二
青森				
岩手	一		一	二

學生

一二三

岡	島	島	和	奈	兵	大	京	滋	三	愛	靜	岐	長	山
山	根	取	歌	良	庫	阪	都	賀	重	知	岡	阜	野	梨
一	一		三	四	六	五	八	二	二二	一四	二	六	三	
二			一	一	五	二	二	一	四五	四	三	五	二	
五	二		四	二	二		一	二	三五	六	一	四	三	
八	三		八	七	一三	七	一	一	一〇二	二四	六	一五	八	
						一			一					
									一					
八	三		八	七	一三	八	一	一	一〇四	二四	六	一五	八	

福	石	富	新	神	東	千	埼	群	栃	茨	福	山	秋	宮
井	川	山	潟	奈	京	葉	玉	馬	木	城	島	形	田	城
二	二	二	二	一	一			二		一	一	一		
		三	二		二	二	一	一		一				一
一			三	一							三		一	
三	二	六	七	二	三	二	一	三		二	四	一	一	一
三	二	六	七	二	三	二	一	三		二	四	一	一	一

廣島	山口	山島	德島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿兒島	沖繩	朝鮮
三	三	一	三	二	二	一	四	二	一	一	一	一	二	二	
一				三	二	一	五	一	一	三	三	二	二	一	
三	一			二	四	三	二	四	一	二	一	二			
七	四	一	五	八	四	一	七	七	三	二	五	三	二	二	一
七	四	一	五	八	四	一	七	七	三	二	五	三	二	二	一

中華民國	總計
一	一三三
一	一〇九
一	一〇二
一	三三四
一	四
一	一
一	三二八

### 第八 卒業生 (五十音順)

#### 農學科第一回 二十八名

- 大正十四年三月卒業
- 自營 足立 俊正 愛知 桑垣 傳護 千葉
  - 京城公立農學校教諭 井出 高義 靜岡 三重縣立松阪商業學校教諭 齋藤 武夫 山形
  - 朝鮮總督府殖産局 岩名 孝太 新潟 自營 貞永 三郎 山口
  - 愛知縣津島高等女學校教諭 大柿 護 北海道 三重縣立員辨農學校教諭 志村 浩一 埼玉
  - 三重縣立名賀農學校教諭 大塚 俊司 靜岡 京都帝國大學農學部農林生物學科學生 鈴木 橋雄 三重
  - 三重縣立度會農學校教諭 奧井英太郎 三重 千葉縣立多古農學校教諭 鈴木 良次 新潟
  - 新潟縣立栃尾農商學校教諭 (舊折谷) 大河内陽雄 三重 明治神宮 宗宮 祐夫 岐阜

卒業生

一二八

京都帝國大學部學生 (舊中西)  
 熊谷 三郎 京都  
 岡山煙草專賣局技手 中森 作雄 三重  
 忠清南道公立農學校教員 野呂 貞好 三重  
 三重縣立鈴鹿農學校教諭 羽生 節 鹿兒島  
 京都帝國大學農學部大學院 平山 重勝 愛知  
 學生  
 南米ブラジル、サンパウロ 深川 景吉 滋賀  
 州セントラルリンハ、マン パテ

德島煙草專賣局技手 堀田 耕太 三重  
 三重縣立農事試驗場技手 堀 五一 三重  
 關西府縣農會聯合大阪販賣 正木 郁三 大阪  
 幹旋所  
 三重縣農會技手 松浦 幸也 三重  
 富山縣立水見高等女學校 水越 弘 三重  
 教諭  
 茨城縣立水戸農學校教諭 村田 三郎 山口  
 農林省農務局農產課 山本辰次郎 石川

農學科第二回

三十五名

大正十五年三月卒業

臺灣濱口鳳梨株式會社 出射 正次 山梨  
 愛知縣新城農實學校教諭 井上 善光 奈良  
 大阪府農會 上田 勇 大阪  
 愛知縣瀧實業學校教諭 岡垣内 匠 和歌山

農林省農務局副業課 小川 亮一 栃木  
 九州帝國大學農學部學生 荻野 周次 兵庫  
 自營 奧井亮三郎 三重  
 三重縣立四日市商業學校 小田 志郎 三重  
 教諭  
 朝鮮大邱慶尙北道迎日郡廳菊地 金治 岩手

大阪府立生野中學校教諭 菊池 武夫 岩手  
 高知縣立農事試驗場 黒田 俊吉 靜岡  
 京都帝國大學農學部學生 澤川 繁 山形  
 自營 島貫 三郎 山形  
 自營 相馬 世治 京都  
 自營 高木 秀一 宮崎  
 愛媛縣立伊豫實業學校教諭 田中 松夫 岐阜  
 京都帝國大學農學部農林經 寺林傳太郎 富山  
 濟學科學生  
 兵庫縣瀧野町農業補習學校 富永 重興 三重  
 熊本地方專賣局 中村 龍樹 福岡  
 名古屋地方專賣局吉田出張 沼田 滿 茨城  
 所  
 廣島縣立世羅中學校教諭 野澤 磊爾 愛知  
 青森縣勸業課技手 馬場 四郎 福島

靜岡縣立駿東農林學校教諭長谷川 德 愛知  
 農林省大宮種鶏場 濱田 朝祐 埼玉  
 京都帝國大學農學部農林經 平沼 延一 東京  
 濟學科學生  
 農林省農務局農產課 松本 直一 滋賀  
 自營 前野 軍太 三重  
 自營 峰 長藏 和歌山  
 愛知縣四尾中學校教諭 森井 儀一 三重  
 京都帝國大學農學部農林經 森本 庫一 兵庫  
 濟學科學生  
 大阪市役所都市計畫課 森本 修三 愛知  
 兵庫縣水上農商公民學校 山口 明 宮崎  
 兵庫縣神崎郡大山村立農業 山崎 賢一 和歌山  
 補習學校  
 山梨英利女學校 山田 駒雄 山梨

大正十五年六月卒業

卒業生

一二九

卒業生

自營

佐野 淡一 兵庫

1110

農學科第三回

二十九名

昭和二年三月卒業

東京府立農事試験場

淺井 晃 東京

佐賀縣小城郡農會技手

後藤 智 大分

宮城縣農務課技手

石淵 壽 熊本

三重縣立蠶絲學校教諭

近藤 亮一 愛媛

滋賀縣蒲生郡農會技手

一色 一雄 滋賀

德島縣立麻植中學校教諭

佐藤須賀夫 大分

自營

伊藤 六郎 愛知

京都帝國大學農學部學生

杉山猶之助 三重

山梨縣立身延中學校教諭

井原 稔 和歌山

京都帝國大學農學部學生

須永 達雄 栃木

兵庫縣印南郡別所村補習學校

伊元貞三郎 島根

農林省農務局農產課

田中 稔 山形

岐阜縣不破郡岩手補習學校

岩田 玉一 岐阜

自營

谷畑 喜作 富山

自營

岡村庄一郎 兵庫

南米ブラジルニ於テ自營

玉置 海三 和歌山

朝鮮平壤專賣局成川出張所

大林 廣次 靜岡

京都帝國大學農學部學生

柘植 利久 三重

三重縣立實業教員養成所

工藤醇一郎 青森

自營

鳥羽 篤郎 三重

教諭

農林省農事試験場鴻巣試驗地

中川 勝八 愛知

自營

長山 敦一 高知

石川縣鳳至郡穴水町技術員米田

健吉 兵庫

兵庫縣加東郡福田村補習學校

野崎 清夫 岡山

昭和二年五月卒業

澁井 健一 福島

自營

長谷川千秋 愛知

大分縣杵築中學校教諭

大塚 耕二 三重

自營

春名 一明 兵庫

自營

大塚 耕二 三重

農林省畜産試験場

藤岡 喜久 奈良

自營

大塚 耕二 三重

農學科第四回

二十七名

昭和三年三月卒業

大阪高等學校助手

足立 昇造 三重

埼玉縣大宮町大宮種鶏場

川島 三美 三重

京都帝大農學部學生

五百井 亨 大阪

廣島縣双三郡三次高等女學校

木村 虎雄 和歌山

埼玉縣立農事試驗場

大橋 友二 富山

大阪府北田邊町桃山中學校

久保 常三 奈良

千葉縣農事試驗場

大熊 忠二 岡山

富山縣立農事試驗場

小林 勝治 兵庫

自營

大西 保英 愛媛

埼玉縣熊谷農學校

小林 龍雄 長野

自營

川島 治幸 大阪

自營

信部 初男 兵庫

卒業生

1111

清水 幹雄 山口



卒業生

一三三

入管中	杉谷 文之 富山	廣島縣立深安實業學校教諭藤田 正雄 廣島
三重高等農林學校助手	田會 純吾 廣島	京都帝大農學部學生 三上福之助 埼玉
神奈川縣立農事試驗場	田中 芳市 島根	入管中 柳瀬 義術 高知
自營	西端 善作 大阪	農林省青森種鶏場 山内 勇信 福島
自營	八田 植 滋賀	岡山縣女子師範學校教諭 山本 忠夫 神奈川
入管中	服部 仙三 愛知	昭和三年五月卒業
三重高等農林學校助手	樋田 節雄 大分	自營 北川孝治郎 京都
自營	深井 寛 三重	

農業土木學科第一回

二十八名

大正十四年三月卒業	東洋拓殖株式會社京城支店川合 久三 滋賀	
山口縣萩中學校教諭	岩本 益雄 愛媛	神奈川縣立農醫學校教諭 川勝 洋三 京都
岩手縣土木課技手	遠藤 靖 宮城	朝鮮總督府殖產局土地改良部水利課 刑部 精一 三重
石川縣耕地整理課技手	奥田 壽夫 三重	靜岡縣安倍農學校 古賀 菊次 山口

千葉縣立旭農學校教諭	小山 操雄 兵庫	靜岡縣中泉農學校教諭 東川 美雄 三重
朝鮮咸興農學校教諭	酒井鉦一郎 愛知	新潟縣廳耕地整理課技手 日比野文雄 愛知
朝鮮慶尙北道農務課技手	清水 武雄 香川	滋賀縣立長濱農學校教諭 福家 雄一 香川
群馬縣立中條農學校教諭	鈴木 武臣 德島	東洋拓殖株式會社京城支店牧野 潤二 山形
山口縣土木課技手	高倉貫一郎 三重	三重縣土木課技手 松尾 直三 三重
朝鮮總督府殖產局土地改良部	多賀 正三 滋賀	朝鮮全州農學校教諭 松本 貞一 三重
青森縣耕地課	田上源八郎 三重	朝鮮忠清北道產案課技手 嶺 滿龜 福岡
大阪府耕地整理課技手	田原 耕三 三重	京都帝國大學農學部農林工學科學生 森 嘉門 三重
名古屋市育英商業學校	齋 辰雄 德島	福島縣岩瀨農學校教諭 安田 次貞 愛知
東洋拓殖株式會社京城支店中島	辰 愛知	名古屋市中區笠寺町港東土地區劃整理組合事務所 山田 長作 愛知
長野縣廳耕地整理課技手	林 桂 岐阜	

農業土木學科第二回

二十八名

卒業生

一三三

卒業生

一三四

大正十五年三月卒業

山梨縣立農林學校教諭 有吉 志良 福岡  
 福井縣立坂井農學校教諭 伊藤 又一 福井  
 群馬縣立蠶絲學校教諭 岩下 次男 熊本  
 宮城縣農耕地整理課 小川 征二 宮城  
 長野縣農耕地整理課 尾崎 孝雄 愛知  
 秋田縣農耕地整理課 川口 襄三郎 三重  
 愛知縣都市計劃課 工藤 延雄 岐阜  
 北海道土木部土地改良課 倉 小三郎 北海道  
 奈良縣農林課 齊藤 辰雄 愛知  
 朝鮮總督府殖産局水利課 櫻井 實 宮崎  
 福岡縣田川中學校教諭 堤 喬司 兵庫  
 新潟縣農耕地整理課 關 (舊西村) 正一 富山

朝鮮總督府土地改良部開墾課 橋都 武二 長野  
 山梨縣農商課 長谷 武雄 三重  
 福島縣農耕地整理課 服部榮三郎 三重  
 北海道土木部土地改良課 濱本 良造 京都  
 大分縣佐伯中學校教諭 藤井 芳雄 山口  
 朝鮮總督府土地改良部土地改良課 藤村 忠雄 山口  
 京都帝國大學農學部農林工學科學生 古市 與一 三重  
 福岡縣農耕地整理課 堀内 正利 福岡  
 北海道土木部土地改良課 堀 美也雄 岐阜  
 米國加州スムクソン市パンフイツクユニバーシティ學生 森山 明 東京  
 北海道土木部土地改良課 山崎 爲夫 愛知  
 滋賀縣農務課 若出 由夫 三重  
 三重高等農林學校助教授 渡邊 小太 三重

大正十五年五月卒業

大正十五年七月卒業

愛媛縣農耕地整理課 川本 貴雄 三重  
 香川縣立木田農學校教諭 星野 豊平 香川

自營

加茂仁三郎 静岡

農業土木學科第三回

三十六名

昭和二年三月卒業

石川縣農耕地整理係 稻垣 茂 三重  
 宮城縣農耕地整理係 上島 克己 三重  
 北海道土地改良課 榎本松三郎 東京  
 山形縣農耕地整理係 織田村師郎 山口  
 静岡縣農耕地整理係 大塚 清司 静岡  
 農林省農務局農耕地整理係 大西 多一 德島  
 富山縣農耕地整理係 奧田 一郎 石川  
 香川縣農耕地整理係 柏井 益水 高知

岐阜縣農耕地整理係 川井 光夫 三重  
 朝鮮總督府土地改良部水利課 北川 俊次 三重  
 静岡縣立藤枝農學校教諭 小山 桂一 愛知  
 神奈川縣立平塚農學校教諭 佐藤 紫郎 山形  
 臺灣總督府土木部 芝田 三男 三重  
 死亡 辻原 昌男 三重  
 新潟縣農耕地整理係 土井 利一 富山  
 三重高等農林學校研究生 中田 政武 三重  
 朝鮮總督府土地改良部水利課 中森 悌二 滋賀

卒業生

一三五

卒業生

一三六

臺南州大日本製糖株式會社永原 實郎 三重  
 秋田縣耕地整理課 西田 吾一 岐阜  
 群馬縣耕地整理課 西 正夫 三重  
 兵庫縣耕地整理課 早瀬 己之 石川  
 岐阜縣耕地課 昭和二一年四月卒業  
 廣田延太郎 三重  
 朝鮮總督府土地改良部 昭和二一年五月卒業  
 水利課 福元 一二 鹿兒島  
 廣島縣耕地整理課 藤橋 九市 滋賀  
 大阪府耕地整理課 松浦 圭三 大阪  
 京都帝國大學農學部學生 宮下 功長 野  
 熊本縣耕地課 森賀 年秋 愛媛  
 京都帝國大學農學部林學科學生 山下鎌一郎 廣島  
 北海道土木部土地改良課 橫山 重義 福島  
 岐阜縣耕地課 芳山 久夫 愛知  
 朝鮮忠清南道農務課 若林 郷夫 三重  
 津市上水道部技手 阿部春太郎 三重  
 入營中 石川 常雄 山梨  
 靜岡縣都市計畫課 仙波 漸 愛媛  
 地方委員會技手 藤本 和夫 三重  
 滋賀縣耕地整理課 昭和二一年五月卒業  
 坂本 敏夫 三重  
 朝鮮京畿道農務課技手

農業土木學科第四回

三十二名

昭和三年三月卒業

埼玉縣耕地課技手 池田 誠常 石川  
 慶尚北道農務課技手 池田 義雄 靜岡  
 大阪府役所都市計畫課 石田 光平 大阪  
 愛知縣古知里町瀧實業學校 岩崎 繁雄 三重  
 教諭 (舊伊藤)  
 岐阜縣安八農學校 海野 榮一 三重  
 自營 岡本 福三 石川  
 入營中 岡本 義信 香川  
 秋田縣耕地課技手 大島 精一 北海道  
 自營 大西 正康 高知  
 入營中 北村 壽男 三重  
 茨城縣耕地課技手 小島万之丞 福島  
 入營中 小島 平雄 廣島  
 甲府市都市計畫課技手 小宮山靜藏 山梨  
 群馬縣耕地課技手 駒田 勝 三重  
 農林省耕地課 佐倉 俊夫 三重  
 奈良縣耕地整理課技手 西口 末郎 三重  
 山形縣耕地課技手 鈴木 正次 三重  
 大阪府土木局道路課 高宮 卯市 大阪  
 福島縣會津農林學校教諭 田中 重平 新潟  
 自營 土井 牧夫 長崎  
 熊本縣耕地課技手 豐田 榮一 三重  
 名古屋立第三商業學校 西井 雅一 三重  
 教諭 藤原 實 三重  
 朝鮮總督府土地改良部水 增野 政雄 山口  
 利課 入營中 松尾 武記 長崎  
 朝鮮土地改良株式會社 (京城黃金町)技手

卒業生

一三七

卒業生

一三八

尾崎縣立諫早農學校教諭 宮夕原 晋 鹿兒島  
 神奈川縣立松田農學校教諭 山本 稔男 三重  
 福岡縣耕植課技手 安永 治郎 福岡  
 昭和三年五月卒業  
 宮城縣立栗原農學校教諭 山口 四郎 群馬  
 自營 貝増 利雄 三重  
 靜岡縣藤枝農學校 山本義三郎 兵庫  
 自營 松村 寛 高知

林學科第一回 二十三名

大正十四年三月卒業  
 靜岡縣御殿場實業學校教諭 小西百太郎 奈良  
 山梨縣山林課技手 新保 義二 石川  
 三重縣林務課技手 島林 理英 滋賀  
 京都帝國大學農學部學生 小林 義秀 山梨  
 關 正三 栃木  
 愛媛縣林務課技手 古屋 武夫 群馬  
 高津戶益美 栃木  
 帝室林野局盛岡出張所技手 佐賀五代吉 秋田  
 朝鮮總督府山林部技手 高山 林 兵庫  
 帝室林野局名古屋支局 佐治 文哉 福井  
 福島縣立會津農林學校教諭 田村幸次郎 京都  
 新城出張所 自營 三重縣津市伊勢新聞社 畑 石治 福岡  
 自營 四方 公平 京都  
 島根縣益田農林學校教諭 林 鎮雄 東京

大阪營林局新宮營林署技手 早藤 昌二 茨城  
 北海道廳拓殖部林務課技手 松井英太郎 大阪  
 自營 伴 一雄 三重  
 松岡 英二 福岡  
 秋田營林局扇田營林署 古谷 俊雄 東京  
 樺太廳臨時森林作業所 三崎 龍二 三重  
 自營 鈎 俊一 滋賀  
 山口二三生 三重

林學科第二回 三十三名

大正十五年三月卒業  
 朝鮮總督府林業試驗場 穴吹規矩士 香川  
 北海道拓殖部林務課技手 川越 進 宮崎  
 熊本縣農林課技手 井出 稅 靜岡  
 自營 神庭 英 島根  
 朝鮮江原道麟蹄營林署 岩本 二郎 島根  
 高知縣林業課技手 木下 義統 鳥取  
 九州帝國大學林學部學生 石川 利治 東京  
 青森營林局中里營林署 佐々木確治 秋田  
 宮崎縣立宮崎農學校教諭 岡田 廣一 德島  
 自營 曾根 正孝 富山  
 北海道拓殖部林務課技手 岡野 行雄 和歌山  
 德島縣農林課技手 武田 要 德島  
 靜岡縣山林課技手 鴛淵 滿雄 長崎  
 自營 辰己 俊吉 奈良

卒業生

一三九

卒業生

一四〇

自營	附田 文治	青森	朝鮮總督府山林部	本田 親人	宮崎
自營	內藤 久一	京都	大阪營林局	松田 愿	山口
朝鮮總督府山林部	長尾 正和	高知	死亡	松本 幸男	愛媛
德島縣立農業學校教諭	中村 當一	香川	山口縣林務課技手	柳井 元一	岡山
樺太廳林務課技手	中山 利郎	三重	愛知縣林務課技手	矢野 登	香川
石川縣林務課技手	林 茂	福井	帝室林野名古屋支局 小坂出張所技手	山本 二雄	奈良
秋田營林局技手	原 金一	岐阜	山梨縣立峽北農學校教諭	吉本 今太郎	靜岡
山梨縣山林課技手	深澤 正男	山梨	大正十五年五月卒業	久富 運吉	山口
島根縣立川本農學校	福田 港	熊本	自營		
東京營林局	逸見 雪夫	岡山			

林學科第三回

二十五名

昭和二年三月卒業	安達 瀧雄	石川	北海道虻田郡俱知安林業 事務所	伊藤 照光	愛媛
三重縣林務課技手			秋田營林局能代營林署	岩山 宇内	宮城

朝鮮總督府山林部林務課	梅原 文夫	大分	三重縣立農林學校教諭	松原 松男	長野
入營中	越智 一吉	愛媛	高知營林局利用課土木係	萬濃 秀男	三重
三重高等農林學校助手	鬼武 幹亮	山口	廣島縣庄原實業學校教諭	溝口 悌次	長野
岡山縣林務課	垣野 太圭次郎	三重	秋田縣林務課技手	森岡 潤吉	高知
慶尚北道廳產業課技手	加藤 嘉藏	奈良	三重高等農林學校助手	森倉 良溢	三重
自營	齋藤 市三	三重	三重高等農林學校助手	山川 浩太郎	三重
岡山縣林務課技手	砂走 正義	鹿兒島	兵庫縣農務課技手	湯淺 巖雄	香川
自營	田中 巖	京都	昭和二年四月卒業		
新潟縣林務課技手	田部 繁昌	東京	自營	大里 喜重	
北海道紋別郡遠輕營林區 分署技手	中澤 和雄	和歌山	自營	草田 得三	
大阪營林局	中谷 喜久二郎	石川	樺太廳林務課技手	谷口 貢	
高知縣林務課技手	濱田 一夫	高知			

林學科第四回

三十一名

卒業生

一四一

昭和三年三月卒業

飯田 忠一 奈良	自營	三枝 壽雄 兵庫
井上 源憲 廣島	大阪營林局利用課	佐藤 三郎 秋田
井ノ口三郎 三重	高知營林局利用課土木係	塩川 三二 福岡
白井 茂 山形	忠清北道産業課技手	白勢 修 新潟
大久保昌之 石川	高知縣林務課技手	高橋 渡 高知
川滿 惠元 沖繩	京都帝大農學部利用學教室田代	純 兵庫
片山 佐又 香川	北海道釧路營林區署技手	立川 全夫 靜岡
國田 廣實 愛媛	自營	因 秀成 福岡
黒井 良勝 東京	自營	中川 重男 京都
小久保 壽 愛知	北海道帝室林野局札幌支局技手	馬場 瑞穂 福岡
小瀧 武夫 福島	三重縣林務課技手	松島 盛大 三重
後藤 旭 愛知	香川縣農林課技手	三達 雲平 三重
		滿谷 五三 岡山

入營中

村上 章 愛知	昭和三年五月卒業	黒岩 實 佐賀
森田 宿禰 長崎	自營	後藤 鋼 愛知
山本市兵衛 奈良	自營	
和田忠之亮 三重		

農學科選科

大正十五年三月修了

別處 初幸 愛媛	自營	昭和二年三月修了	今井 武 三重
野村 安衛 岐阜	自營	昭和二年四月修了	花谷 郁 三重

農業土木學科選科

大正十四年三月修了

福岡縣農耕地課

山本三千三 三重

大正十五年三月修了

三重縣伊那古村補習學校

石田 巖 三重

林學科選科

大正十五年三月修了

自營 日野 雅亮 長野

### 第九 敷地建物

敷地

所要別	坪	敷	所	在	地
校舍敷地	一五、五三二 <sup>坪</sup>	三	重	縣	河藝郡栗真村
實驗農場	四七、八二九	三	重	縣	津市上濱町
	四、四六二	三	重	縣	河藝郡栗真村
演習林	一、三七三、五八八	三	重	縣	一志郡八幡村
合計	一、四四一、四一一				

建物

種別	構造	棟	數	坪	敷	(延坪)
種別	鐵筋コンクリート	二階建	一	四八		四八
倉庫	煉瓦造	二階建	一	五六		五六
武道場	木造	平家建	一	八四		八四
雨天體操場	同		一	一〇五		一〇五
特別研究室	木造	二階建	一	九〇		九〇
藥品車	煉瓦造	平家建	一	一〇、五八六		一〇、五八六
有毒瓦斯處理室	鐵筋コンクリート	平家建	一	五		五
瓦斯發生室	木造	平家建	一	四		四
電池室	同		一	三		三
養蠶室	木造	二階建	三	一八四、四		一八四、四
乾燥室	木造	平家建	一	八		八
蠶種貯藏庫	鐵筋コンクリート	平家建	一	九		九
硝子室	煉瓦造	硝子張平家建	一	八		八
溫室及同機關室	鐵骨及鐵筋コンクリート	平家建	二	四四		四四
固定溫床	煉瓦造	硝子張平家建	一	一四		一四

種別	構造	棟	數	坪	敷	(延坪)
倉庫	鐵筋コンクリート	二階建	一	四八		四八
倉庫	煉瓦造	二階建	一	五六		五六
武道場	木造	平家建	一	八四		八四
雨天體操場	同		一	一〇五		一〇五
特別研究室	木造	二階建	一	九〇		九〇
藥品車	煉瓦造	平家建	一	一〇、五八六		一〇、五八六
有毒瓦斯處理室	鐵筋コンクリート	平家建	一	五		五
瓦斯發生室	木造	平家建	一	四		四
電池室	同		一	三		三
養蠶室	木造	二階建	三	一八四、四		一八四、四
乾燥室	木造	平家建	一	八		八
蠶種貯藏庫	鐵筋コンクリート	平家建	一	九		九
硝子室	煉瓦造	硝子張平家建	一	八		八
溫室及同機關室	鐵骨及鐵筋コンクリート	平家建	二	四四		四四
固定溫床	煉瓦造	硝子張平家建	一	一四		一四

敷地建物

羊舍	堆肥舍	馬舍	牛舍	サ イ ロ	飼料室	酪農室	林産製造室	農産製造室	農業機械室	穀物庫	作業室及收納室	農場管理室及實習室	小使室、物置、便所及 渡廊下等	寄宿舎及附屬建物
同	同	同	木造平家建	煉瓦造	同	同	同	同	同	同	同	同	木造二階建	木造二階建 一部平家建
一	二	一	一		一	一	一	一	一	一	一	一	二二	一二
一〇	七五	七五	四五	一箇	三六	二〇	三五	五〇	一〇〇	三五	九五	九五	二二七、 四七七	四六五、 三七三

敷地建物

合計	官舎物置	官舎	演習林寄宿舎	モ ー タ ー 室	農場員詰所及便所	作物栽培實驗室	樹苗消毒室	煙烟室	豚舎	鶏舎
	木造平家建	同	木造二階建及平家建	鐵筋コンクリート及 木造平家建		木造平家建	同	鐵筋コンクリート 平家建	同	同
	四	四	六	二	三	一	一	一	一	一
四、〇五八、四六一	一七	一〇七	二一〇、 三七五	三五	二四	二一	二	二	一八、 七五	二七



## 附 錄

### 三重高等農林學校校友會規則

- 第一條 本會ハ會員相互ノ親睦ヲ厚クシ智德ヲ磨キ心身ヲ練リ本校ノ校風ヲ發揚スルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ハ三重高等農林學校校友會ト稱ス
- 第三條 本會ノ事務所ハ之ヲ三重高等農林學校内ニ設ク
- 第四條 本會ノ會員ハ左ノ四種トス
- 一、通常會員 本校在學生
  - 二、特別會員 本校卒業生、本校修業生
  - 三、贊助會員 本校職員及本校縁故者
  - 四、名譽會員 特ニ本會ニ功勞アル人ニシテ會長ノ推薦ニ係ル者
- 第五條 本會ノ目的ヲ達セン爲メ左ノ八部ヲ置ク

- 學藝部
- 劍道部
- 柔道部
- 野球部
- 庭球部
- 水泳部
- 諸技部
- 庶務部

前項中學藝部ハ講演會談話會ノ開催及會誌編纂等ノコトヲ諸技部ハ競技弓術蹴球登山等ノコトヲ、庶務部ハ庶務及會計ノコトヲ掌ル

第六條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

- 會長 一名
- 副會長 一名

部長 各部一名

評議員 若干名

委員 各部若干名

必要ニ應シ各部ニ副部長ヲ置クコトヲ得

會長ハ本校校長ヲ推戴ス

副會長部長副部長評議員ハ賛助會員中ニ就キ會長之ヲ選任ス

委員ハ通常會員中ヨリ互選ニ依リ候補者ヲ定メ會長之ヲ命ス

第七條 役員ノ職務ハ左ノ如シ

會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス

副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ其ノ事務ヲ代理ス

部長ハ會長ノ指揮ニ從ヒ各其ノ部ノ事務ヲ掌理ス副部長ハ部長ヲ補佐シ部長事故アルトキハ其ノ事務ヲ代理ス

評議員ハ役員會ニ列席シ意見ヲ述ヘ議決ニ參與ス

委員ハ部長ノ指揮ニ從ヒ其ノ部ノ事務ニ從事ス

委員中役員會ニ列席シ意見ヲ述ヘ議決ニ參與スルモノハ各部三名トス

第八條 會長必要アリト認ムルトキハ庶務部ニ屬スル事務ヲ本校職員ニ囑託スルコトヲ得

第九條 副會長以下役員ノ任期ハ一箇年トシ毎年二月之ヲ選任ス

但シ缺員ヲ生シタルトキハ隨時之ヲ選任スルコトアルヘシ此ノ場合ノ任期ハ前任者ノ殘任期トス

第十條 左ノ事項ハ役員會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

一、規則及細則ノ制定改廢ニ關スル事項

二、豫算及決算ニ關スル事項

三、運動會ニ關スル事項

四、其ノ他會長ニ於テ重要ト認ムル事項

第十一條 役員會ハ會長之ヲ召集ス

第十二條 役員會ハ總役員ノ三分ノ二以上出席スルニアラサレハ議事ヲ開キ議決ヲナスコトヲ得ス

第十三條 役員會ノ議事ハ出席者ノ三分ノ二以上ノ賛成ヲ得テ之ヲ決ス

第十四條 本會ノ經費ハ會費寄附金及其ノ他ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ

一、通常會員ハ入會ノ際入會金トシテ金貳圓ヲ納ムルモノトス

二、通常會員ハ會費トシテ毎學期金參圓ヲ本校授業料納付期ニ於テ納ムルモノトス

三、特別會員ハ年額會費トシテ毎年十一月金貳圓又ハ終身會費トシテ一時ニ金貳拾圓ヲ納ムルモノトス但シ終身會費ハ二回ニ金拾圓宛分納スルコトヲ得終身會費完納ニ至ルマテハ毎年金貳圓ヲ納ムルモノトス但シ終身會費納入ノ年度ハ此ノ限リニアラス

四、在校贊助會員ハ毎月月俸ノ千分ノ五ヲ出金スルモノトス

一旦納付シタル會費ハ何等ノ事由アルモ之ヲ返付セス

第十五條 本會ノ會計年度ハ毎年四月ニ始マリ翌年三月ニ終ル

第十六條 本會ノ歳入歳出ノ決算ハ次年度ノ始メニ於テ之ヲ報告ス

第十七條 會員ニシテ不都合ノ行爲アリタリト認ムル者ハ役員會ノ議決ニヨリ除名スルコトアルヘシ

第十八條 本會ニ基本金ヲ置ク基本金ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第十九條 本則施行ニ關スル細則ハ役員會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

但各部ニ關スル細則ハ會長ノ認可ヲ受ケ部長之ヲ定ムルコトヲ得

附 則

第十四條第一項第三項ノ改正ハ大正十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

三重高等農林學校校友會基本金規則

本會規則第十八條ニ依リ基本金ニ關スル規則左ノ通之ヲ定ム

第一條 基本金ハ左記各號ノ一ニ當ルモノヲ以テ之ニ充ツ

一、毎年度歳入歳出決算剩餘金

一、終身會費 但シ毎回納入ノ五分ノ四ノ金額

一、基本金ヨリ生スル利子

一、寄附金 但シ費途ヲ指定シタルモノハ此限ニアラス

第二條 基本金ハ左ノ場合ノ外之ヲ支出スルコトヲ得ス

一、通常會計ニ著シク不足ヲ生シタル場合

二、本會ノ重大緊要ナル臨時ノ事業ニシテ其ノ年度經常費ヲ以テ施行シ得サル場合

前項第一號ノ場合ハ役員會ノ議決ヲ經テ其ノ年度ノ利子ノ一部又ハ全部ヲ支出スルコトヲ得但シ基本金額一萬圓ニ達シタル後ニ限ル前項第二號ノ場合ハ役員會ノ議決ヲ經テ元金ノ一部ヲ支出スルコトヲ得

第三條 基本金ハ之ヲ郵便貯金又ハ確實ナル銀行預金若ハ有價證券トシテ會長之ヲ保管スルモノトス

附 則

第四條 本規則ハ大正十五年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

（以下は非常に淡く、ほとんど不可読な印刷文字が並んでいる）

昭和四年二月十八日印刷  
昭和四年二月廿三日發行

三重高等農林學校

三重縣津市北町拾貳番屋敷

印刷者 松田光次郎

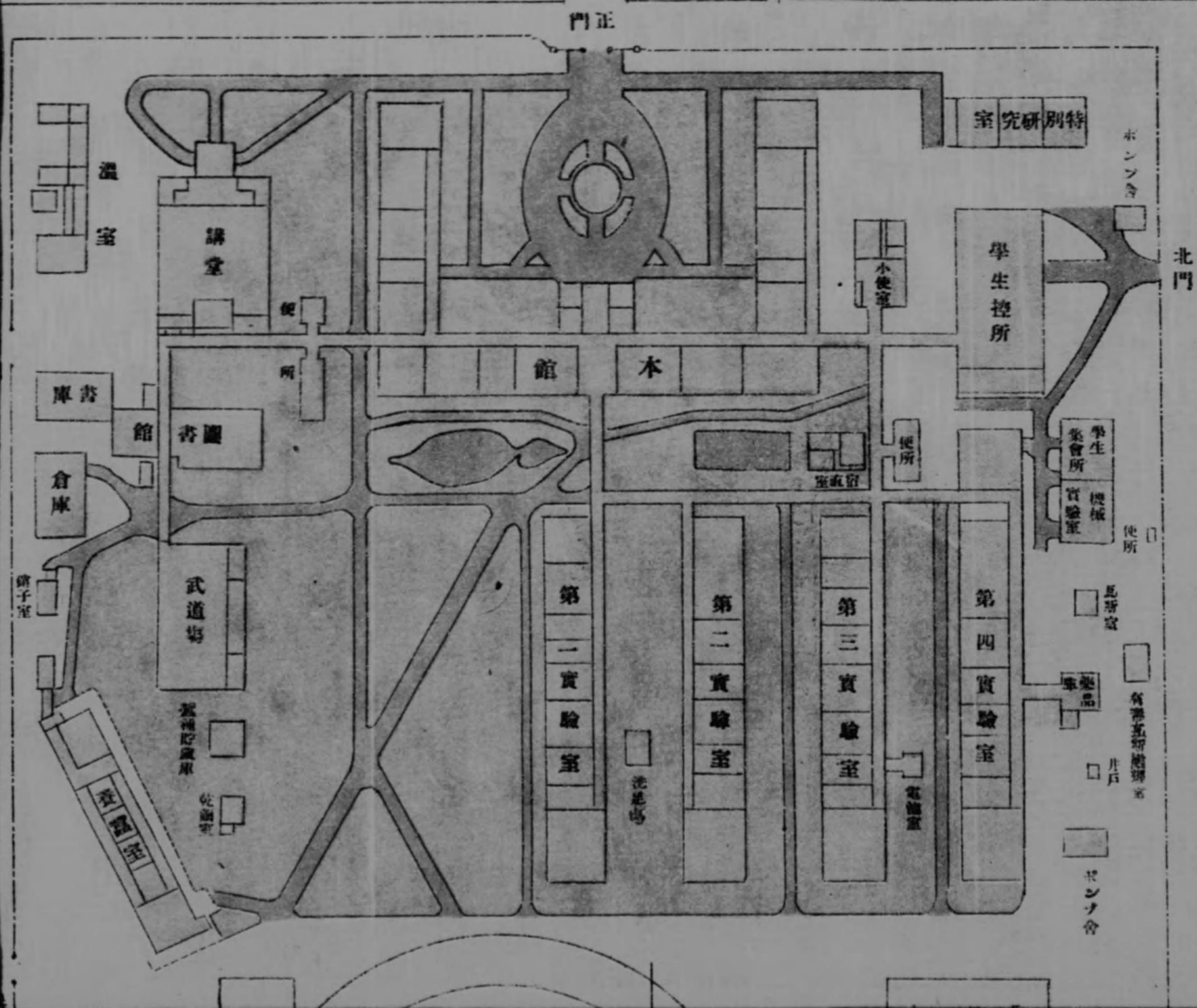
三重縣津市北町拾貳番屋敷

印刷所 遵法社



# 三高等農林學校建校圖

縮尺二千分之一



# 三高等農林學校全校圖

縮尺五千分之一

